令和８年度（2026年度）

入学者選抜要項

地域政策学部を新設
経済学部に総合型選抜を新設

福井県立大学
Fukui Prefectural University

目　　次

◎入学者選抜日程の概要 …… 1

◎入学者受入方針 …… 2

◎選　抜　要　項

Ⅰ　募　集　人　員 …… 17

Ⅱ　一　般　選　抜 …… 19

Ⅲ　学校推薦型選抜 …… 32

Ⅳ　総合型選抜 …… 39

Ⅴ　帰国生徒特別選抜 …… 45

Ⅵ　社会人特別選抜 …… 47

Ⅶ　私費外国人留学生特別選抜 …… 49

Ⅷ　経済学部の特別選抜における TOEIC の利用について …… 52

Ⅸ　個別の入学資格審査 …… 53

Ⅹ　障害を有する入学志願者等との事前相談 …… 53

Ⅺ　入試過去問題の利用について …… 53

Ⅻ　大学案内・学生募集要項等の請求方法 …… 53

ⅩⅢ　個人情報の取扱いについて …… 54

ⅩⅣ　不測の事態が発生した場合の諸連絡について …… 54

ⅩⅤ　令和９年度入学者選抜要項の変更について【予告】 …… 55

入学者選抜日程の概要

<table>
<tr><th>選抜の区分</th><th>募集要項
発表予定</th><th>出願期間</th><th>学力検査等</th><th>合格発表</th><th>入学手続</th></tr>
<tr><td>一般選抜
（前期日程）</td><td rowspan="2">11月上旬※</td><td rowspan="2">令和8年
1月26日（月）
～ 2月 4日（水）</td><td>令和8年
2月25日（水）</td><td>令和8年
3月 6日（金）</td><td>令和8年
3月 7日（土）
～ 3月15日（日）</td></tr>
<tr><td>一般選抜
（後期日程）</td><td>令和8年
3月12日（木）</td><td>令和8年
3月21日（土）</td><td>令和8年
3月22日（日）
～ 3月27日（金）</td></tr>
<tr><td>学校推薦型選抜</td><td>９月下旬※</td><td>令和7年
11月 4日（火）
～11月11日（火）</td><td>令和7年
11月22日（土）</td><td>令和7年
12月 1日（月）</td><td>令和7年
12月 2日（火）
～12月 9日（火）</td></tr>
<tr><td>総合型選抜</td><td>８月下旬※</td><td>令和7年
10月 1日（水）
～10月 8日（水）</td><td>令和7年
11月23日（日・祝）</td><td>令和7年
12月 1日（月）</td><td>令和7年
12月 2日（火）
～12月 9日（火）</td></tr>
<tr><td>特別選抜
（社会人、
帰国生徒）</td><td rowspan="2">９月中旬</td><td rowspan="2">令和7年
11月 4日（火）
～11月11日（火）</td><td rowspan="2">令和7年
11月22日（土）
～11月23日（日・祝）</td><td>令和7年
12月 1日（月）</td><td>令和7年
12月 2日（火）
～12月 9日（火）</td></tr>
<tr><td>特別選抜
（私費外国人
留学生）</td><td>令和8年
1月 7日（水）</td><td>令和8年
1月 8日（木）
～ 1月21日（水）</td></tr>
</table>

※一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜については、インターネット出願となるため、学生募集要項の冊子での配布は行いません。本学ホームページ（https://www.fpu.ac.jp/）から閲覧またはダウンロードしてください。

入　学　者　受　入　方　針

【大学の理念・目的】

福井県立大学は、時代の発展に即応した学術文化の高度化を推進する拠点として、真理探究の精神、広い視野と豊かな創造力、高度で専門的な知識・技術を有する有為な人材を養成するとともに、先進的な科学の研究および技術の開発を行い、学術情報を地域社会へ開放することにより、福井県はもとより、わが国の産業と文化の発展に寄与することを目的とし、もって人類の永続的福祉の向上に貢献することを使命としています。この使命を達成するために、次の三つの基本理念を掲げています。

① 新しい時代にふさわしい魅力ある大学
② 特色ある教育・研究を行う個性ある大学
③ 地域社会と連携した開かれた大学

【教育目標】

① 学問への関心を引き出すとともに、全人的教養を身につけ、自立した個人として成長できる能力を養う。

② 科学の飛躍的発展に対応できる高度な知識や技術とともに、専門職にふさわしい態度を身につけ、社会のニーズに対応できる能力を養う。

③ 少人数教育の特色を活かし、思考力・判断力・表現力・創造力・コミュニケーション力などを併せ持った総合的人間力を身につけ、社会・個人との豊かな関わりを持つことができる能力を養う。

④ 国際化、情報化、少子高齢化などの時代の変化を踏まえ、生命と環境、経済・社会、医療福祉の問題など新たな課題に取り組む能力を養う。

⑤ 自ら学問を探求する態度を身につけ、個性ある研究が行える能力を養う。

⑥ 地域社会との連携を深め、地域住民と協働した社会づくりに貢献できる態度を養う。

経 済 学 部

【理念・目的】

経済学部は、多様化し変動著しい現代の経済社会やそこにおける企業経営の在り方および法則、地域経済・企業や各国経済の特質等を明らかにし、あるべき経済政策および経営を追求する研究を推し進めるとともに、その成果にもとづき、経済・経営に関する専門的な知識を有し、情報活用能力・論理的判断力・国際的感覚を持った人材を養成すること、さらに研究成果そのものを地域社会のみならず広く社会へ開放することを目的とします。

特に教育については次のことに心がけて行います。

① 研究に基づいて教育の水準を高く維持すること。
② 教員自身が研究に打ち込む姿を学生に見せるとともに、その成果を学生に伝えるように努めること。
③ 学生の知識水準に注意を払い、学生が吸収しやすいよう教授法についても研究を重ねること。
④ 多様な学生の需要に応じるため、教員集団の多様性を保ち、学生に自発的な選択の余地を与えるとともに、個々の教員も多様な見方があることを示すよう努めること。

【教育目標】

経済学部は、学生たちに向けて次のような教育目標を掲げます。

① 経済の運動や企業の行動についての古今の学説を知り、社会科学についての教養を深め、経済社会の仕組みを知る。
② 現実の経済・経営を分析する能力を持ち、政策について判断する力を身につける。
③ 自らの頭で考え、自らの進路を切り開くことができる自立した個人に成長する。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

経済学部は、次のいずれかに該当する学力のある学生を求めます。

① 高等学校で英語、国語、数学、理科、地理歴史・公民に関して十分な基礎学力を身につけた学生
② 社会の仕組みや運動、企業の行動について興味を持ち、それらを知ることに意欲的である学生
③ 経済学・経営学を学ぶことで、自分で考え自分で判断する力を身につけたいと考えている学生
④ 経済学・経営学について専門的知識を身につけ、それを将来就く職業に生かしたいと考えている学生

【入学者選抜の基本方針】

経済学部では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストと個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜、総合型選抜を実施します。

〈一般選抜〉

入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総

合して行います。
大学入学共通テストで課している教科・科目について、高等学校での履修内容を充分に理解できているかを評価します。個別学力検査では、専門科目の学習に必要な知識、思考力、判断力、表現力を評価します。

〈学校推薦型選抜〉
入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。
学部の教育理念に沿った小論文を課し、専門分野の学習に必要な論理的思考や表現力を評価します。併せて、目的意識や意欲、本学志望の動機、高等学校や地域などでの活動を総合的に評価します。

〈総合型選抜〉
入学者の選抜は、出願書類（調査書を含む）、小論文、プレゼンテーションおよび面接の内容を総合して評価します。
小論文では、学部の教育理念に沿った試験問題により、専門分野の学習に必要な論理的思考や表現力を評価します。
面接およびプレゼンテーションでは、社会的に高い評価を得た活動等について、評価を得るまでにどのような努力をしたか、活動等を通じて何を学んだか、その学びを大学入学後、卒業後にどう活かしていくかについて確認します。課題を分析し解決していく能力やその独創性、自身の行動を振り返り学びを抽出する能力、将来を構想する能力、ならびにそれらを適切に説明するコミュニケーション能力を評価します。

生物資源学部

【理念・目的】

生物資源学部は、生物資源にかかわる諸領域において以下の教育研究活動を推進することにより、地域社会、日本、世界の産業と文化の発展に寄与し、もって人類の将来にわたる福祉の向上に貢献します。この使命を達成するために、次の三つの基本理念を掲げます。

① 時代の進展に即応した学術文化の高度化の推進と、それに寄与できる人材の育成。特に、社会の多様な場で困難を解決し真の発展を図れる人材、持続可能な社会の構築において最新の専門知識と先端技術を用い適切な対処ができる人材を育てます。
② 自主的な真理探究の精神、広い視野および豊かな創造力を有し、基礎的および専門的な知識と技術、そして多様性に関する寛容さを備えた実践力ある人材の育成
③ 学術情報の地域社会への開放

【教育目標】

責任ある社会人として必要な教養と倫理観を身につけるとともに、価値観のゆらぐ現代社会において、変化するものとしないものを見極めて現象の本質に科学的に迫り、生物資源にかかわる諸問題、特に持続可能な社会の構築に関して、最新の専門知識と先端技術を用い適切な対処ができる能力を養います。

生物資源学科

地域社会はもとより世界の人々の将来にわたる幸せのため、グリーン・デジタルなどの新興分野を含む社会の多様な場で困難を解決しその真の発展を図れる、意欲・能力・創造性そして寛容さを備えた人材を育成します。そのため、次の教育目標を定めます。

① 科学・技術が自然や社会に与える影響を多面的に考え、生物資源の利用に当たって、責任ある方向付けに必要な基礎的素養を身につけます。
② 生命科学の幅広い理解と応用のための基礎として、情報科学、自然科学の知識を身につけます。
③ 生物資源の資源採取・加工・利用や環境保全等のグリーンテクノロジーに関する専門知識ならびにそれを応用する上で必要な知識を身につけます。
④ 急速に発展するデジタル技術を用いて必要な情報を収集・解析し、問題を発見や解決し、自らの考えを論理的に形成できる能力を身につけます。
⑤ 自然環境や社会の持続可能性に配慮するなど限られた条件の下で、生物化学にかかわる技術的な課題を設定・解決する能力を身につけます。また、課題解決に向けたグループワークのための対話能力と文章作成能力を身につけます。

創造農学科

「食と農と環境」に関連する広範囲な分野で中心的に活躍するための知識と技術と経験を備えた人材を育成します。そのため、次の教育目標を定めます。

① 食用作物、園芸作物、飼料作物、家畜など、多様な農林畜産物に関する農学的知識を身につけ、農業生産に関する広範囲な実践的素養を体得します。
② 農林畜産物の生産・利用法・加工・商品開発やマーケッティング等の分野における最先端の技術を学び、次世代展開を図るために必要な知識と技術を身につけます。
③ 食と農と人（文化、芸術、福祉）を取り巻く環境について、地域や日本、世界の状況を知り、

特に地域においては、その保全や修復の実践を通して学び、持続可能な環境や地域社会の構築に向けて行動するために必要な知識と技術を身につけます。

④　必要な情報収集能力を身につけるとともに、自らの考えを論理的に表現し議論するための対話能力と文章作成能力を身につけます。

⑤　技術的な課題を自ら見出し、安全や環境に配慮するなど、限られた条件の下で設計・解決する能力を身につけます。また、課題解決に向けて、互いに協力して仕事をする能力を身につけます。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

生物資源学部の教育目標に従い、求める学生像や、大学入学までに身につけておくべき教科と科目に関して、次のように定めます。

生物資源学科

求める学生像：微生物から高等動植物まで多様な生物に興味と関心を持ち、分子から生物、さらに生態系にまで及ぶ広範な対象を取り扱う科学分野の勉学に強い探究心を持って取り組むことができる学生を求めます。生物資源にかかわる知識と技術を携え、自分の考えをまわりのひとに的確に伝えることができ、将来にわたって主体的に活動する意欲と希望を持った学生が望まれます。

必要な知識･技能：生物資源学を大学で学ぶためには、高等学校等において、国語、英語、数学、生物、化学、物理、情報の基礎学力の習得が必要です。

創造農学科

「食と農と環境」に興味と関心を持つとともに、これに 関連する様々な体験をしたいという意志があり、将来、農業、食品業などの関連する分野で活躍し、地域資源の最大活用、脱炭素化、労力軽減・生産性向上などのイノベーション推進に貢献しようという意欲と希望を持つ学生を求めます。

創造農学科で学ぶためには、高等学校等における幅広い基礎学力が必要です。さらに、自分の考えを自分の言葉で表現でき、他者と適切にコミュニケーションがとれるよう努力することが重要です。

【入学者選抜の基本方針】

生物資源学部では、アドミッション･ポリシーで示した能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストと個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜、総合型選抜を実施します。各選抜における審査の観点や判定方法等は、各学科がそれぞれ具体的に定めています。

生物資源学科

〈一般選抜〉

入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。大学入学共通テストで課している教科・科目について、高等学校での履修内容を充分に理解できているかを評価します。個別学力検査では、専門科目の学習に必要な知識、思考力、判断力、表現力を評価します。

〈学校推薦型選抜〉
入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。 学部の教育理念に沿った小論文を課し、専門分野の学習に必要な論理的思考や表現力を評価します。面接試験において、目的意識や意欲、本学志望の動機、高等学校や地域などでの活動を総合的に評価します。

〈総合型選抜〉
入学者の選抜は、出願書類（調査書を含む)、プレゼンテーションおよび面接の内容を総合して評価します。面接では、大学での学業への意欲と大学で学んだことを将来どのように活用して社会貢献したいかを確認します。 本試験では、特に、活動の過程における創意工夫、得られた結果に客観的な考察をして課題を解決しようとする能力を評価します。

創造農学科

〈一般選抜〉
入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等（面接）の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。
大学入学共通テストで課している教科・科目について、高等学校での履修内容を充分に理解できているかを評価します。個別学力検査等（面接）では、専門科目の学習に必要な知識、思考力、判断力、表現力を評価します。

〈学校推薦型選抜〉
入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。 学部の教育理念に沿った小論文を課し、専門分野の学習に必要な論理的思考や表現力を評価します。面接試験において、目的意識や意欲、本学志望の動機、高等学校や地域などでの活動を総合的に評価します。

〈総合型選抜〉
プレゼンテーションおよび面接の成績ならびに自己推薦書および調査書の内容を総合して評価します。 知識、独創性、行動力、表現力、協調性ならびにコミュニケーション能力等を評価します。

海洋生物資源学部

【理念・目的】

海洋生物資源学部は、海洋生物資源にかかわる諸領域での教育・研究活動を通じて、時代の進展に即応した学術文化の高度化の推進、自主的な真理探究の精神と広い視野および豊かな創造力を有し専門的な知識と技術を備えた実践力ある人材の育成、および地域社会への学術情報開放の推進を目的としています。これにより、地域社会、日本および環日本海地域はもとより、世界の産業と文化の発展に寄与し、もって人類の将来にわたる福祉の向上に貢献することを目指しています。

【教育目標】

教育目的を達成するために身につけるべき具体的能力を、教育目標として次に掲げます。

海洋生物資源学科

① 海洋生物資源にかかわる技術者として、幅広い視野を持ち、科学・技術が社会や自然に及ぼす影響、効果および倫理的責任を理解して行動する。
② 海洋生物資源学の基礎となる数学、自然科学、および外国語で議論するために必要な基礎的語学力を継続的に学修し、論理的に思考する。
③ 海洋環境の保全および海洋生物資源の育成と利用にかかわる基礎的・専門的知識を身につけ、海洋生物資源の持続的利用に関する問題の解決に応用する。
④ 海洋生物資源の持続的利用に関する課題を解決するために、計画を作成して実践し、その成果を論理的に取りまとめて検証し、口頭で発表するとともに、積極的に議論する。
⑤ 他者と協働して海洋生物資源にかかわる問題を解決するために、自己のなすべき行動と他者のとるべき行動を的確に判断し、相互に意思疎通を図りながら行動する。

先端増養殖科学科

① 水産増養殖にかかわる技術者として、科学・技術が社会や自然に及ぼす影響、効果、および倫理的責任を理解して行動する。
② 魚介類や藻類などの生産・育成の分野における基礎から最先端に至る知識と技術を学び、それらを実践的に応用する。
③ 地域産業の発展と国際化のための戦略、経営管理手法、および国際的な社会貢献に関する知識と技術を身につけ、海洋関連産業（養殖・商品開発・流通販売など）の起業やマネジメントなどの実践的な行動に発展させる。
④ 社会的背景を理解して水産増養殖にかかわる課題を設定し、解決のための計画を立案して実践する。
⑤ 課題解決に向けて、他者と相互に意思疎通を図りながら行動し、成果をまとめて文章および口頭で論理的にわかりやすく発表する。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

教育目的を達成するため、海洋生物資源学部は次のような学生の入学を求めています。

① 海洋環境や海洋生物資源を取り巻く様々な問題に強い関心を持ち、科学・技術を通してその解決に貢献する意欲を有する学生
② 海洋生物資源学を学ぶために必要となる理科、数学および英語などの基礎学力を有し、自主的な学習習慣を身につけている学生
③ 他者と協力しながら学ぶためのコミュニケーション能力を身につけている学生

【入学者選抜の基本方針】

海洋生物資源学部では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストと個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜および総合型選抜を実施します。

海洋生物資源学科

〈一般選抜〉

入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。

大学入学共通テストで課している教科・科目について、高等学校での履修内容を充分に理解できているかを評価します。個別学力検査等では、専門科目の学習に必要な知識、思考力、判断力、表現力を評価します。

〈学校推薦型選抜〉

入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。

学部の教育理念に沿った小論文を課し、専門分野の学習に必要な論理的思考や表現力を評価します。面接試験において、目的意識や意欲、本学志望の動機、高等学校や地域などでの活動を総合的に評価します。

〈総合型選抜〉

プレゼンテーションおよび面接の成績ならびに自己推薦書および調査書の内容を総合して評価します。知識、独創力、行動力、表現力、協調性ならびにコミュニケーション能力等を評価します。

先端増養殖科学科

〈一般選抜〉

入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。

大学入学共通テストで課している教科・科目について、高等学校での履修内容を充分に理解できているかを評価します。個別学力検査等では、専門科目の学習に必要な知識、思考力、判断力、表現力を評価します。

〈学校推薦型選抜〉

入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。

学部の教育理念に沿った小論文を課し、専門分野の学習に必要な論理的思考や表現力を評価します。面接試験において、目的意識や意欲、本学志望の動機、高等学校や地域などでの活動を総合的に評価します。

〈総合型選抜〉

プレゼンテーションおよび面接の成績ならびに自己推薦書および調査書の内容を総合して評価します。知識、独創力、行動力、表現力、協調性ならびにコミュニケーション能力等と将来性を評価します。

看護福祉学部

【理念・目的】

看護福祉学部では、人権尊重と擁護を根幹とするヒューマンケアの理念に基づき、専門的知識・技術の開発にかかわる研究を推進します。さらに、社会情勢の変化に伴う課題への実践的な取り組みを通して、人々の健康的な生活の創造に寄与します。教育においては、個性豊かで創造的な人間性を育むとともに、看護および社会福祉の専門的知識と技術および倫理観に裏付けられた実践力を持って、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成します。さらに社会およびその時々の個人・家族のニーズに応じた高度なサービスを普遍的に提供するために、専門職として自己研鑽を積むことができる人材を養成します。

【教育目標】

看護福祉学部の教育目標は、次のとおりです。

看護学科

① 生命の尊厳、人権擁護の立場から人々の健康生活を支援できる能力を育成する。
② 人々を全人的に理解するための豊かな感性を育成する。
③ 科学に裏付けられた専門的知識と技術を用いて、人々の個別性に応じた看護を主体的に創造できる能力を育成する。
④ 保健、医療、福祉との連携・協働を図り、個人および社会のニーズに応じた看護を実践できる能力を育成する。
⑤ 自ら探求する態度を身につけ、将来にわたり専門職として看護を発展させていくための研究、教育および管理能力の基礎を育成する。

社会福祉学科

① 普遍的な社会福祉の価値観、思想および倫理を重んじ、人間の尊厳重視、人権擁護および社会正義の立場から人々の生活を支援できる人材を育成する。
② 人々の生活やその困難を環境との関連から理解し、人々に共感することのできる幅広い知識と豊かな感受性を育む。
③ 科学に裏付けられた知識、方法および専門技術を用い、人々の個別のニーズに応じた社会福祉サービスの創造と適用ができる能力を育成する。
④ 学際的な多職種連携による実践を通して、個人、家族および社会のニーズに応えられる能力ならびに国際的視野を涵養する。
⑤ 講義・演習・実習という三つのプログラムにおいて、専門職を目指して社会福祉を主体的に学び、探究していく姿勢と態度の修得を促す。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

看護学・社会福祉学は人々の健康と生活に直接かかわる学問です。看護福祉学部では、社会の動向や人間に関心を持てる人、他者の考えや独自性を尊重できる人、経験を通して自分自身を振り返ることのできる人、さらに主体的に学修に取り組む熱意のある人の入学を求めます。高等学校においては、人々とのコミュニケーションに必要な国語や英語の基礎学力を高めること、さらに、社会、地域、人々の生活および人の身体やこころの仕組みを理解できるような科目を意識的に学修することを望んでいます。

看護学科

【看護学科の求める学生像】

看護学科では主体的に学修に取り組む熱意のある人の入学を求める（主体性）。

① 専門的知識と技術を学ぶための基礎学力を身につけている（知識、理解力）。

② 社会の動向や人間に関心をもち、人々の保健・医療・福祉の発展に貢献したいという目的意識をもっている（関心、目的意識）。

③ 人としての基本的な倫理観を備え、他者の価値観･個別性･多様性を尊重することができる（倫理観、協調性、判断力）。

④ 自分自身の行為・態度を振り返り自己を向上させることができる（思考力、表現力）。

【看護学科の入学前に学習しておくことが期待される内容】

高等学校段階までの国語、数学、英語３科目について基礎学力が幅広く十分身についていることが必要です。そのうえで生物や倫理などの人を理解できるような科目を意識的に学修することを期待します。

社会福祉学科

【社会福祉学科の求める学生像】

社会福祉学科では主体的に学修に取り組む熱意のある人の入学を求める（主体性）。

① 社会福祉の理論や実践について学ぶための基礎学力を身につけている（知識、理解力）。

② 社会の動向や人間に関心をもち、多様な人々が豊かに生活できる社会の実現に貢献したいという目的意識をもっている（関心、目的意識）。

③ 人としての基本的な倫理観を備え、他者の価値観･個別性･多様性を尊重することができる（倫理観、協調性、判断力）。

④ 自分自身の行為・態度を振り返り自己を向上させることができる（思考力、表現力）。

【社会福祉学科の入学前に学習しておくことが期待される内容】

高等学校段階までの国語、英語２科目の基礎学力が幅広く十分に身についていることが必要である。そのうえで、地域社会における人々の生活を理解できるような科目を意識的に学修することを期待する。

【入学者選抜の基本方針】

看護福祉学部では、こうした能力を考査し、入学者を選抜するために、大学入学共通テストと個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜を実施します。各選抜における審査の観点や判定方法等は、各学科がそれぞれ具体的に定めています。

看護学科

〈一般選抜〉

入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等（面接）の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。ただし、個別学力検査等（面接）の成績が著しく低い場合には、総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。

大学入学共通テストで課している教科・科目について、高等学校での履修内容を充分に理解できているかを評価します。個別学力検査等（面接）では、専門科目の学習に必要な知識、思考力、判断力、表現力を評価します。

〈学校推薦型選抜〉

入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して

行います。
　学部の教育理念に沿った小論文を課し、専門分野の学習に必要な論理的思考や表現力を評価します。面接試験において、目的意識や意欲、本学志望の動機、高等学校や地域などでの活動を総合的に評価します。

社会福祉学科

〈一般選抜〉
　入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。
　大学入学共通テストで課している教科・科目について、高等学校での履修内容を充分に理解できているかを評価します。個別学力検査等では、専門科目の学習に必要な知識、思考力、判断力、表現力を評価します。

〈学校推薦型選抜〉
　入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。
　学部の教育理念に沿った小論文を課し、専門分野の学習に必要な論理的思考や表現力を評価します。面接試験において、目的意識や意欲、本学志望の動機、高等学校や地域などでの活動を総合的に評価します。

恐 竜 学 部

【理念・目的】

恐竜学部は、福井県で蓄積された恐竜研究をさらに発展させ、地質学を含めた地球科学分野の教育・研究活動を通じ、現代社会の地球科学諸問題に対応するため、幅広い教養と地球科学に関する知識・技術を持ち、多様な局面において協働的および自主的に課題を探求・解決できる人材を育成するとともに、学術情報を地域社会へ積極的に開放することを目的とします。

【教育目標】

恐竜学部では、教育目的を達成するために身に付けるべき能力を教育目標として、次のように定めます。

① 自然科学への幅広い関心を持ち、文理横断的な幅広い教養や視野を体得する。
② 地球科学分野の中でも特に古生物学や地質学、古環境学、デジタル科学等の専門知識と、現場や実践を重視した調査研究方法を修得し、社会のニーズや動向に応用できる能力を身につける。
③ 少人数教育の特色を活かしたプレゼンテーションやディスカッション、フィールドワークを通して、思考力や表現力、コミュニケーション力等を併せ持ち、他者と協働することができる能力を身につける。
④ 国際化、情報化が進む現代社会に対応し、国際的な視野を持ち、デジタル技術を駆使しながら、地球科学諸問題の解決に取り組める能力を身につける。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

教育目的を達成するため、恐竜学部は次のような学生の入学を求めています。

① 自然科学に興味を持ち、これに関する研究分野におけるフィールド活動に関心・意欲がある。
② 多様な自然界の現象に対して科学的探究心を持ち、課題解決に向けて自分の意見を表現できる。
③ 自然科学を学ぶ上での理科・数学および国際化・情報化社会に対応するための外国語・情報科学の基礎を身につけている。
④ 積極的かつ自主的な学習姿勢を持ち、他者との協働作業などを意欲的に取り組むことができる。

【入学者選抜の基本方針】

恐竜学部では、アドミッション・ポリシーで示した能力を考査して入学者を選抜するために、大学入学共通テストと個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜、総合型選抜を実施します。それぞれの選抜方法において、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度」を判断していきます。

〈一般選抜〉

入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。

大学入学共通テストで課している教科・科目について、高等学校での履修内容を充分に理解できているかを評価します。個別学力検査では、専門科目の学習に必要な知識、思考力、判断力、表現力を評価します。また、調査書により主体性、協働性を評価します。

〈学校推薦型選抜〉

入学者の選抜は、小論文および面接ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。

学部の理念や教育目標に沿った小論文を課し、専門分野の学習に必要な知識、思考力、判断力、

表現力を評価します。面接試験において、目的意識や意欲、本学志望の動機、高等学校や地域などでの主体的・協働的な活動を総合的に評価します。

〈総合型選抜〉

入学者の選抜は、プレゼンテーションおよび面接ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。

プレゼンテーションおよび面接では、知識、思考力、判断力、表現力、協働性ならびにコミュニケーション能力を評価するために、科学的かつ論理的な考え方、大学での学業への意欲と大学で学んだことを将来どのように活用して社会貢献したいかなどを確認します。

地域政策学部

【理念・目的】

地域政策学部は、経済・経営の基礎理論や産業立地や地域経済に関する専門的知識の理解を促すとともに、そうした知識の地域現場での適応力の育成に努めることにより、地域産業の高度化やグローバル化、新たな産業や企業の創出、持続可能な地域社会の構築に貢献し、地域独自のイノベーションをもたらす主体性と実行力を身につけたリーダー的人材を養成することを目的とする。

【教育目標】

本学部では、教育目的を達成するために身に付けるべき能力を教育目標として、次のように定めます。

① 経済や経営の基礎理論とともに、産業立地や地域経済に関する専門的知識を身につけ、日本や世界の諸地域の事情を知り、地域イノベーションを惹起する上で必要となる豊富な知識を習得させる。
② 地域データ分析における最先端の技術を学び、フィールドワークを通じて現実の地域社会を分析する能力を鍛え、自らの考えを論理的に表現し議論するための対話能力と文章作成能力を身につけさせる。
③ 地域の課題を自ら見出し、課題解決に向けて、互いに協力して政策を立案し、その実現をめざして、地域の自治体や企業、住民と協働する能力を身につけさせる。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

教育目的を達成するため、本学部は次のような学生の入学を求めています。

① 高等学校で英語、国語の基礎学力に加え、数学・理科・地理歴史・公民・情報等の幅広い基礎学力を身につけている学生
② 自分の考えを自分の言葉で表現できる学生
③ 地域の課題解決に興味や関心を持つ学生
④ 多種多様な人々と適切なコミュニケーションを図りながら、主体性を持って学修に取り組むことができる学生

【入学者選抜の基本方針】

地域政策学部では、アドミッション･ポリシーで示した能力を考査して入学者を選抜するために、大学入学共通テストと個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜、総合型選抜を実施します。

それぞれの選抜方法において、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度」を判断していきます。

〈一般選抜〉

入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。

大学入学共通テストで課している教科・科目について、高等学校での履修内容を充分に理解できているかを評価します。個別学力検査では、専門科目の学習に必要な知識、思考力、判断力、

表現力を評価します。

〈学校推薦型選抜〉
　入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。
　学部の理念や教育目標に沿った小論文を課し、専門分野の学習に必要な思考力、判断力、表現力を評価します。面接試験において、目的意識や意欲、本学志望の動機、高等学校や地域などでの主体的・協働的な活動を総合的に評価します。

〈総合型選抜〉
　入学者の選抜は、プレゼンテーション、小論文および面接の成績ならびに自己推薦書および調査書の内容を総合して行います。思考力、判断力、表現力、主体性ならびに協働性を評価します。

Ⅰ 募 集 人 員

学部	学科	入学定員	募集人員						
			一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜（地域枠）	特別選抜		
			前期日程	後期日程			帰国生徒	社会人	私費外国人留学生
経済学部	経済学科	80名	35名	20名	20名	5名（地域枠2名）	若干名	若干名	若干名
	経営学科	80名	35名	20名	20名	5名（地域枠2名）	若干名	若干名	若干名
生物資源学部	生物資源学科	50名	14名	17名	11名	8名（地域枠3名）	若干名	若干名	若干名
	創造農学科	30名	11名	5名	7名	7名	若干名	若干名	若干名
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	50名	25名	10名	10名	5名	若干名	若干名	若干名
	先端増養殖科学科	30名	10名	6名	8名	6名（地域枠2名）	若干名	若干名	若干名
看護福祉学部	看護学科	50名	25名	5名	20名		若干名	若干名	若干名
	社会福祉学科	30名	15名	5名	10名		若干名	若干名	若干名
恐竜学部	恐竜･地質学科	30名	15名	3名	6名	6名（地域枠2名）	若干名	若干名	若干名
地域政策学部	地域イノベーション学科	70名	30名	5名	25名	10名	若干名	若干名	若干名
計		500名	215名	96名	137名	52名	若干名	若干名	若干名

（注）1　一般選抜の「前期日程」および「後期日程」は、分離分割方式の区分によります。
2　恐竜学部恐竜・地質学科を除く各学科の学校推薦型選抜募集人員の約半数（＊1）は、【出身学科を指定する学校推薦型選抜】への出願者（＊2）を対象とします。（【学校推薦型選抜】の区分は32から38ページ参照）
（＊1）経済学科、経営学科はそれぞれ約8名
（＊2）海洋生物資源学科の【理数科目を重視する学校推薦型選抜】は含みません。
3　特別選抜の「若干名」は、一般選抜の前期日程の募集人員に含まれます。
4　生物資源学部生物資源学科の前期日程の募集人員14名のうち、《試験A》区分の募集人員を10名、《試験B》区分の募集人員を4名とします。
（《試験A》および《試験B》については20ページおよび25ページを参照）

5　経済学部、生物資源学部生物資源学科、海洋生物資源学部先端増養殖科学科、恐竜学部の総合型選抜募集人員にはそれぞれ地域枠を含みます。
なお、地域枠による合格者がそれぞれの地域枠募集人員を下回る場合があります。
（【総合型選抜】については３９から４４ページ参照）

6　学校推薦型選抜、総合型選抜の選考結果によっては、合格者が募集人員に満たない場合があります。入学手続き者が募集人員に満たない場合は、一般選抜前期日程の募集人員に不足した人数を加えます。なお、生物資源学科においては、一般選抜前期日程《試験Ａ》区分の募集人員に不足した人数を加えます。

Ⅱ　一　般　選　抜

１　出　願　資　格

令和８年度大学入学共通テストのうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、以下の各号のいずれかに該当するもの

（１）高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または令和８年３月卒業見込みの者

（２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者または令和８年３月修了見込みの者

（３）学校教育法施行規則第１５０条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または令和８年３月３１日までにこれに該当する見込みの者

（注）学校教育法施行規則第１５０条第７号の規定により「個別の入学資格審査」を受けて出願する者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、入学試験本部（入試企画室）までお問い合わせください。

２　選　抜　方　法

（１）共通項目

入学者の選抜には令和８年度大学入学共通テストの成績を利用します。

ただし、次の①または②に該当する場合はいずれも失格となります。

①大学入学共通テストおよび個別学力検査において、本学が指定する教科・科目を１つでも受験しなかった場合

②大学入学共通テストの外国語において英語を選択した者がリスニング試験を受験しなかった場合

（２）経済学部、生物資源学部生物資源学科、海洋生物資源学部、看護福祉学部社会福祉学科、恐竜学部（前期日程）、地域政策学部

入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。

（３）生物資源学部創造農学科

創造農学科は、一般選抜前期日程および後期日程それぞれにおいて志願者が５０名を超えた場合に、大学入学共通テストの利用教科・科目の配点による成績の総得点により、第１段階選抜を実施することがあります。その場合は、第１段階選抜合格者に対してのみ個別学力検査等を実施します。

第２段階選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等（面接）の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。

（４）看護福祉学部看護学科

看護学科は、一般選抜前期日程および後期日程それぞれにおいて志願者が１００名を超えた場合に、大学入学共通テストの利用教科・科目の配点による成績の総得点により、第１段階選抜を実施することがあります。その場合は、第１段階選抜合格者に対してのみ個別学力検査等を実施します。

第２段階選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等（面接）の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。ただし、個別学力検査等（面接）の成績が著しく低い場合には、総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。

（５）恐竜学部（後期日程）

恐竜学部は、一般選抜後期日程において志願者が３０名を超えた場合に、大学入学共通テストの利用教科・科目の配点による成績の総得点により、第１段階選抜を実施することがあります。その場合は、第１段階選抜合格者に対してのみ個別学力検査等を実施します。

第２段階選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等（面接）の成績ならびに調査書およ

び自己推薦書の内容を総合して行います。

（6）試験科目および試験時間

<table>
<tr><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">学部</th><th rowspan="2">学科</th><th colspan="2">大学入学共通テスト利用教科・科目等</th><th colspan="2">個別学力検査等</th><th rowspan="2">試験時間</th></tr>
<tr><th>教科</th><th>科目等</th><th>教科</th><th>科目等</th></tr>
<tr><td rowspan="3">前期日程</td><td>経済学部</td><td>経営学科
経済学科</td><td>【必須】
国
外

【選択】
地歴
公民

数

理</td><td>
「国語」
「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から１科目

「地理総合，地理探究」,
「歴史総合，日本史探究」,
「歴史総合，世界史探究」,
「公共，倫理」,「公共，政治・経済」,
「地理総合／歴史総合／公共」
①「数Ⅰ，数A」および
②「数Ⅱ，数B，数C」（２科目）
「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」,
「物理」,「化学」,「生物」,「地学」
〔３教科３（数の場合４）科目〕</td><td>【必須】
国

英</td><td>
「現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語」
「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理･表現Ⅰ，論理･表現Ⅱ，論理･表現Ⅲ」
〔２教科〕</td><td rowspan="2">各教科
９０分</td></tr>
<tr><td rowspan="2">生物資源学部</td><td rowspan="2">生物資源学科</td><td>《試験A》
【必須】
国
数

理
外
情

《試験B》
【必須】
理

外
情</td><td>

「国語」
①「数Ⅰ，数A」および
②「数Ⅱ，数B，数C」（２科目）
「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から２科目
「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から１科目
「情報Ⅰ」
〔５教科７科目〕

「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」,
「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から１科目
「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から１科目
「情報Ⅰ」
〔３教科３科目〕</td><td>【必須】
理

英</td><td>
「化学基礎，化学」,「生物基礎，生物」から１科目
「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理･表現Ⅰ，論理･表現Ⅱ，論理･表現Ⅲ」
〔２教科〕</td></tr>
<tr><td>創造農学科</td><td>【必須】
国
地歴
公民

数

理

外
情</td><td>
「国語」
「地理総合，地理探究」,
「歴史総合，日本史探究」,
「歴史総合，世界史探究」,
「公共，倫理」,「公共，政治・経済」,
「地理総合／歴史総合／公共」
①「数Ⅰ，数A」および
②「数Ⅱ，数B，数C」（２科目）
「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」,
「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から１科目
「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から１科目
「情報Ⅰ」
〔６教科７科目〕</td><td>【必須】
その他</td><td>「面接」
〔面接〕</td><td></td></tr>
<tr><td>海洋生物資源学部</td><td>海洋生物資源学科</td><td>【必須】
理

外</td><td>
「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」,
「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から１科目
「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から１科目
〔２教科２科目〕</td><td>【必須】
理

英</td><td>
「化学基礎，化学」,「生物基礎，生物」から１科目
「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理･表現Ⅰ，論理･表現Ⅱ，論理･表現Ⅲ」
〔２教科〕</td><td>各教科
９０分</td></tr>
</table>

前期日程	海洋生物資源学部	先端増養殖科学科	【必須】 外 【選択】 数 理 〔2教科2（数の場合3）科目〕	「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から1科目 ①「数Ⅰ，数A」および ②「数Ⅱ，数B，数C」（2科目） 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」,「化学」,「生物」,「地学」 から1科目（数の場合2科目）	【必須】 理 英	「化学基礎，化学」,「生物基礎，生物」から1科目 「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」 〔2教科〕	各教科90分
	看護福祉学部	看護学科	【必須】 国 数 外 【選択】 地歴 公民 理 情 〔4教科5科目〕	「国語」 ①「数Ⅰ，数A」および ②「数Ⅱ，数B，数C」（2科目） 「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から1科目 「地理総合，地理探究」, 「歴史総合，日本史探究」, 「歴史総合，世界史探究」, 「公共，倫理」,「公共，政治・経済」, 「地理総合／歴史総合／公共」 から1科目 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」,「化学」,「生物」,「地学」 「情報Ⅰ」	【必須】 その他	「面接」 〔面接〕	
		社会福祉学科	【必須】 外 【選択】 地歴 公民 理 情 〔2教科2科目〕	「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から1科目 「地理総合，地理探究」, 「歴史総合，日本史探究」, 「歴史総合，世界史探究」, 「公共，倫理」,「公共，政治・経済」, 「地理総合／歴史総合／公共」 から1科目 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」,「化学」,「生物」,「地学」 「情報Ⅰ」	【必須】 国 英	「現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語」 「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」 〔2教科〕	各教科90分
	恐竜学部	恐竜・地質学科	【必須】 国 数 理 外 情 〔5教科7科目〕	「国語」 ①「数Ⅰ，数A」および ②「数Ⅱ，数B，数C」（2科目） 「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から2科目 「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から1科目 「情報Ⅰ」	【必須】 理 英	「化学基礎，化学」,「生物基礎，生物」,「地学基礎，地学」から1科目 「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」 〔2教科〕	各教科90分
	地域政策学部	地域イノベーション学科	【必須】 国 地歴 公民 外 【選択】 数 理 情 〔4教科4（数の場合5）科目〕	「国語」 「地理総合，地理探究」, 「歴史総合，日本史探究」, 「歴史総合，世界史探究」, 「公共，倫理」,「公共，政治・経済」, 「地理総合／歴史総合／公共」 から1科目 「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」から1科目 ①「数Ⅰ，数A」および ②「数Ⅱ，数B，数C」（2科目） 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」, 「物理」,「化学」,「生物」,「地学」 「情報Ⅰ」 から1科目（数の場合2科目）	【必須】 国 英	「現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語」 「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」 〔2教科〕	各教科90分

区分	学部	学科	大学入学共通テスト利用教科・科目等		個別学力検査等		
			教科	科目等	教科	科目等	試験時間
後期日程	経済学部	経営学科 経済学科	【必須】 国 数 外 【選択】 地歴 公民 理 〔4教科5科目〕	 「国語」 ①「数Ⅰ，数A」および ②「数Ⅱ，数B，数C」（2科目） 「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」から1科目 「地理総合，地理探究」， 「歴史総合，日本史探究」， 「歴史総合，世界史探究」， 「公共，倫理」，「公共，政治・経済」， 「地理総合／歴史総合／公共」 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎」， 「物理」，「化学」，「生物」，「地学」 から1科目 〔4教科5科目〕	【必須】 その他 【選択】 数 英 〔小論文と1教科〕	「小論文（800字程度）」 「数Ⅰ，数Ⅱ，数A，数B（数列）， 数C（ベクトル）」 「英語コミュニケーションⅠ， 英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」 〔小論文と1教科〕	各教科 ・ 小論文 とも 90分
	生物資源学部	生物資源学科	【必須】 国 数 理 外 情 〔5教科6科目〕	 「国語」 ①「数Ⅰ，数A」および ②「数Ⅱ，数B，数C」（2科目） 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」， 「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1科目 「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」から1科目 「情報Ⅰ」 〔5教科6科目〕	【選択】 数 英 〔1教科〕	 「数Ⅰ，数Ⅱ，数A，数B（数列）， 数C（ベクトル）」 「英語コミュニケーションⅠ， 英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」 〔1教科〕	各教科 90分
		創造農学科	【必須】 国 数 理 外 情 〔5教科6科目〕	 「国語」 ①「数Ⅰ，数A」および ②「数Ⅱ，数B，数C」（2科目） 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」， 「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1科目 「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」から1科目 「情報Ⅰ」 〔5教科6科目〕	【必須】 その他 〔面接〕	 「面接」 〔面接〕	
	海洋生物資源学部	先端増養殖科学科 海洋生物資源学科	【必須】 数 理 外 【選択】 国 地歴 公民 情 〔4教科5科目〕	 ①「数Ⅰ，数A」および ②「数Ⅱ，数B，数C」（2科目） 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」， 「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から1科目 「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」から1科目 「国語」 「地理総合，地理探究」， 「歴史総合，日本史探究」， 「歴史総合，世界史探究」， 「公共，倫理」，「公共，政治・経済」， 「地理総合／歴史総合／公共」 「情報Ⅰ」 から1科目 〔4教科5科目〕	【選択】 数 英 〔1教科〕	 「数Ⅰ，数Ⅱ，数A，数B（数列）， 数C（ベクトル）」 「英語コミュニケーションⅠ， 英語コミュニケーションⅡ， 英語コミュニケーションⅢ， 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」 〔1教科〕	各教科 90分

<table>
<tr><td rowspan="4">後期日程</td><td rowspan="2">看護福祉学部</td><td>看護学科</td><td>【必須】
国
数

外
情

【選択】
地歴
公民

理

〔５教科６科目〕</td><td>「国語」
①「数Ⅰ，数A」および
②「数Ⅱ，数B，数C」（２科目）
「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」から１科目
「情報Ⅰ」

「地理総合，地理探究」，
「歴史総合，日本史探究」，
「歴史総合，世界史探究」，
「公共，倫理」，「公共，政治・経済」，
「地理総合／歴史総合／公共」
「物理基礎／化学基礎／生物基礎／
地学基礎」，
「物理」，「化学」，「生物」，「地学」
から１科目</td><td>【必須】
その他</td><td>「面接」

〔面接〕</td><td></td></tr>
<tr><td>社会福祉学科</td><td>【必須】
国
数

外

【選択】
地歴
公民

理

情

〔４教科５科目〕</td><td>「国語」
①「数Ⅰ，数A」および
②「数Ⅱ，数B，数C」（２科目）
「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」から１科目

「地理総合，地理探究」，
「歴史総合，日本史探究」，
「歴史総合，世界史探究」，
「公共，倫理」，「公共，政治・経済」，
「地理総合／歴史総合／公共」
「物理基礎／化学基礎／生物基礎／
地学基礎」，
「物理」，「化学」，「生物」，「地学」
「情報Ⅰ」
から１科目</td><td>【選択】
数

英

〔１教科〕</td><td>「数Ⅰ，数Ⅱ，数A，数B（数列），
数C（ベクトル）」
「英語コミュニケーションⅠ，
英語コミュニケーションⅡ，
英語コミュニケーションⅢ，
論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」</td><td>各教科
９０分</td></tr>
<tr><td>恐竜学部</td><td>恐竜・地質学科</td><td>【必須】
国
数

理

外
情

〔５教科６科目〕</td><td>「国語」
①「数Ⅰ，数A」および
②「数Ⅱ，数B，数C」（２科目）
「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，
「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１科目
「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」から１科目
「情報Ⅰ」</td><td>【必須】
その他</td><td>「面接」

〔面接〕</td><td></td></tr>
<tr><td>地域政策学部</td><td>地域イノベーション学科</td><td>【必須】
国
地歴
公民

外

【選択】
数

理

情

〔４教科４（数の場合５）科目〕</td><td>「国語」
「地理総合，地理探究」，
「歴史総合，日本史探究」，
「歴史総合，世界史探究」，
「公共，倫理」，「公共，政治・経済」，
「地理総合／歴史総合／公共」
から１科目
「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」から１科目

①「数Ⅰ，数A」および
②「数Ⅱ，数B，数C」（２科目）
「物理基礎／化学基礎／生物基礎／
地学基礎」，
「物理」，「化学」，「生物」，「地学」
「情報Ⅰ」
から１科目
（数の場合
２科目）</td><td>【選択】
数

英

〔１教科〕</td><td>「数Ⅰ，数Ⅱ，数A，数B（数列），
数C（ベクトル）」
「英語コミュニケーションⅠ，
英語コミュニケーションⅡ，
英語コミュニケーションⅢ，
論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」</td><td>各教科
９０分</td></tr>
</table>

（7）注意事項

① 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

・生物資源学科《試験Ａ》と恐竜学部（前期日程）を除き、地理歴史および公民ならびに理科について２科目を受験した場合は、それぞれの第１解答科目を採用します。

・「地理総合 / 歴史総合 / 公共」及び「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」を選択する場合は、必ず二つの出題範囲を選択解答してください。

② 個別学力検査等について

・数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａは全範囲から出題します。数学Ｂは「数列」、数学Ｃは「ベクトル」から出題します。

（8）得点調整について

個別学力検査における次の選択教科・科目間で、１５点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。

① 生物資源学部生物資源学科、海洋生物資源学部、恐竜学部の前期日程における理科の「化学」、「生物」、「地学」の間

② 後期日程の「英語」、「数学」の間

３ 出願期間、選抜期日および合格発表日

区分	出願期間	選抜期日	合格発表日
前期日程	令和８年１月２６日（月）～２月 ４日（水）	令和８年２月２５日（水）	令和８年３月 ６日（金）
後期日程		令和８年３月１２日（木）	令和８年３月２１日（土）

４　学力検査等の配点

前期日程

（１）経済学部

	国　語	地理歴史,公民	数　学	理　科	外国語	情　報	合　計
大学入学共通テスト	100	(100)	(100)	(100)	100		300
個別学力検査	100				100		200

（注）１　大学入学共通テストで、地理歴史、公民、数学および理科のうち２教科以上を受験した場合は、これらの教科のうち最高得点の教科を採用します。
・地理歴史、公民および理科について２科目を受験した場合は、それぞれの第１解答科目を採用します。
２　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０.７を乗じた値とリスニング試験の得点に０.３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。
３　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０.５を乗じた値を利用します。
４　配点に（　　）の付してある教科は選択教科を表します。
５　個別学力検査の外国語は英語に限ります。

（２）生物資源学科《試験Ａ》

	国　語	地理歴史,公民	数　学	理　科	外国語	情　報	合　計
大学入学共通テスト	50		50	50	50	50	250
個別学力検査				100	100		200

（注）《試験Ａ》
１　大学入学共通テストの外国語
・英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０.３５を乗じた値とリスニング試験の得点に０.１５を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点に０.５を乗じた値を採用します。
・英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０.２５を乗じた値を利用します。
２　個別学力検査の外国語は英語に限ります。

（３）生物資源学科《試験Ｂ》

	国　語	地理歴史,公民	数　学	理　科	外国語	情　報	合　計
大学入学共通テスト				100	100	50	250
個別学力検査				100	100		200

（注）《試験Ｂ》
１　大学入学共通テストの理科
・理科を２科目受験した場合は、第１解答科目を採用します。
２　大学入学共通テストの外国語
・英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０.７を乗じた値とリスニングニング試験の得点に０.３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。
・英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０.５を乗じた値を利用します。
３　個別学力検査の外国語は英語に限ります。

（4）創造農学科

	国　語	地理歴史, 公民	数　学	理　科	外国語	情　報	面　接	合　計
大学入学共通テスト	50	50	50	50	50	50		300
個別学力検査等							100	100

（注）１　大学入学共通テストで、地理歴史、公民および理科について２科目を受験した場合は、第１解答科目を採用します。

２　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０.３５を乗じた値とリスニング試験の得点に０.１５を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点に０.５を乗じた値を利用します。

３　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０.２５を乗じた値を利用します。

４　面接の配点には出願書類の評価を含みます。

（5）海洋生物資源学科

	国　語	地理歴史, 公民	数　学	理　科	外国語	情　報	合　計
大学入学共通テスト				100	100		200
個別学力検査				100	100		200

（注）１　大学入学共通テストで、理科を２科目受験した場合は、第１解答科目を採用します。

２　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０.７を乗じた値とリスニング試験の得点に０.３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。

３　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０.５を乗じた値を利用します。

４　個別学力検査の外国語は英語に限ります。

（6）先端増養殖科学科

	国　語	地理歴史, 公民	数　学	理　科	外国語	情　報	合　計
大学入学共通テスト			（100）	（100）	100		200
個別学力検査				100	100		200

（注）１　大学入学共通テストで、数学および理科の両教科を受験した場合は、得点の高い教科を採用します。

・理科を２科目受験した場合は、第１解答科目を採用します。

２　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０.７を乗じた値とリスニング試験の得点に０.３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。

３　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０.５を乗じた値を利用します。

４　配点に（　　）の付してある教科は選択教科を表します。

５　個別学力検査の外国語は英語に限ります。

（7）看護学科

	国　語	地理歴史,公民	数　学	理　科	外国語	情　報	面　接	合　計
大学入学共通テスト	100	(100)	100	(100)	100	(100)		400
個別学力検査等							100	100

（注）1　大学入学共通テストで、地理歴史、公民、理科および情報のうち２教科以上を受験した場合は、これらの教科のうち最高得点の教科を採用します。
・地理歴史、公民および理科について２科目を受験した場合は、それぞれの第１解答科目を採用します。
2　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０.７を乗じた値とリスニング試験の得点に０.３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。
3　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０.５を乗じた値を利用します。
4　配点に（　　）の付してある教科は選択教科を表します。
5　面接の配点には出願書類の評価を含みます。

（8）社会福祉学科

	国　語	地理歴史,公民	数　学	理　科	外国語	情　報	合　計
大学入学共通テスト		(100)		(100)	100	(100)	200
個別学力検査	100				100		200

（注）1　大学入学共通テストで、地理歴史、公民、理科および情報のうち２教科以上を受験した場合は、これらの教科のうち最高得点の教科を採用します。
・地理歴史、公民および理科について２科目を受験した場合は、それぞれの第１解答科目を採用します。
2　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０.７を乗じた値とリスニング試験の得点に０.３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。
3　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０.５を乗じた値を利用します。
4　配点に（　　）の付してある教科は選択教科を表します。
5　個別学力検査の外国語は英語に限ります。

（9）恐竜学部

	国　語	地理歴史,公民	数　学	理　科	外国語	情　報	合　計
大学入学共通テスト	50		50	50	50	50	250
個別学力検査				100	100		200

（注）1　大学入学共通テストの外国語
・英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０.３５を乗じた値とリスニング試験の得点に０.１５を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点に０.５を乗じた値を利用します。
・英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０.２５を乗じた値を利用します。
2　個別学力検査の外国語は英語に限ります。

（10）地域政策学部

	国　語	地理歴史,公民	数　学	理　科	外国語	情　報	合　計
大学入学共通テスト	100	100	(100)	(100)	100	(100)	400
個別学力検査	100				100		200

（注）1　大学入学共通テストで、地理歴史、公民について２科目を受験した場合は、第１解答科目を採用します。

2　大学入学共通テストで、数学、理科および情報のうち２教科以上を受験した場合は、これらの教科のうち最高得点の教科を採用します。

・理科について２科目を受験した場合は、第１解答科目を採用します。

3　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０.７を乗じた値とリスニング試験の得点に０.３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。

4　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０.５を乗じた値を利用します。

5　配点に（　　）の付してある教科は選択教科を表します。

6　個別学力検査の外国語は英語に限ります。

後期日程

（1）経済学部

	国　語	地理歴史,公民	数　学	理　科	外国語	情　報	小論文	合　計
大学入学共通テスト	100	(100)	100	(100)	100			400
個別学力検査等			(100)		(100)		100	200

（注）1　大学入学共通テストで、地理歴史、公民および理科のうち２教科以上を受験した場合は、これらの教科のうち最高得点の教科を採用します。

・地理歴史、公民および理科について２科目を受験した場合は、それぞれの第１解答科目を採用します。

2　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０.７を乗じた値とリスニング試験の得点に０.３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。

3　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０.５を乗じた値を利用します。

4　配点に（　　）の付してある教科は選択教科を表します。

5　個別学力検査の外国語は英語に限ります。

（2）生物資源学科

	国　語	地理歴史,公民	数　学	理　科	外国語	情　報	合　計
大学入学共通テスト	100		100	100	100	100	500
個別学力検査			(100)		(100)		100

（注）1　大学入学共通テストで、理科を２科目受験した場合は、第１解答科目を採用します。

2　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０.７を乗じた値とリスニング試験の得点に０.３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。

3　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０．５を乗じた値を利用します。
4　配点に（　　）の付してある教科は選択教科を表します。
5　個別学力検査の外国語は英語に限ります。

（3）創造農学科

	国　語	地理歴史, 公民	数　学	理　科	外国語	情　報	面　接	合　計
大学入学共通テスト	50		50	50	50	50		250
個別学力検査等							100	100

（注）1　大学入学共通テストで理科について２科目を受験した場合は、第１解答科目を採用します。
2　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０．３５を乗じた値とリスニング試験の得点に０．１５を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点に０．５を乗じた値を利用します。
3　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０．２５を乗じた値を利用します。
4　面接の配点には出願書類の評価を含みます。

（4）海洋生物資源学部

	国　語	地理歴史, 公民	数　学	理　科	外国語	情　報	合　計
大学入学共通テスト	(100)	(100)	100	100	100	(100)	400
個別学力検査			(200)		(200)		200

（注）1　大学入学共通テストで、国語、地理歴史、公民および情報から２教科以上を受験した場合は、これらの教科のうち最高得点の教科を採用します。
・地理歴史、公民および理科について２科目を受験した場合は、それぞれの第１解答科目を採用します。
2　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０．７を乗じた値とリスニング試験の得点に０．３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。
3　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０．５を乗じた値を利用します。
4　配点に（　　）の付してある教科は選択教科を表します。
5　個別学力検査の外国語は英語に限ります。

（5）看護学科

	国　語	地理歴史, 公民	数　学	理　科	外国語	情　報	面接	合　計
大学入学共通テスト	100	(100)	100	(100)	100	100		500
個別学力検査等							200	200

（注）1　大学入学共通テストで、地理歴史、公民および理科のうち２教科以上を受験した場合は、これらの教科のうち最高得点の教科を採用します。
・地理歴史、公民および理科について２科目を受験した場合は、それぞれの第１解答科目を採用します。
2　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディン

グ試験の得点に０．７を乗じた値とリスニング試験の得点に０．３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。

3　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０．５を乗じた値を利用します。

4　配点に（　　）を付してある教科は選択教科を表します。

5　面接の配点には出願書類の評価を含みます。

（6）社会福祉学科

	国　語	地理歴史,公民	数　学	理　科	外国語	情　報	合　計
大学入学共通テスト	100	(100)	100	(100)	100	(100)	400
個別学力検査			(100)		(100)		100

（注）1　大学入学共通テストで、地理歴史、公民、理科および情報のうち２教科以上を受験した場合は、これらの教科のうち最高得点の教科を採用します。

・地理歴史、公民および理科について２科目を受験した場合は、それぞれの第１解答科目を採用します。

2　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０．７を乗じた値とリスニング試験の得点に０．３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。

3　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０．５を乗じた値を利用します。

4　配点に（　　）を付してある教科は選択教科を表します。

5　個別学力検査の外国語は英語に限ります。

（7）恐竜学部

	国　語	地理歴史,公民	数　学	理　科	外国語	情　報	面　接	合　計
大学入学共通テスト	100		100	100	100	100		500
個別学力検査等							100	100

（注）1　大学入学共通テストで、理科を２科目受験した場合は、第１解答科目を採用します。

2　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０．７を乗じた値とリスニング試験の得点に０．３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。

3　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０．５を乗じた値を利用します。

4　面接の配点には出願書類の評価を含みます。

（8）地域政策学部

	国　語	地理歴史,公民	数　学	理　科	外国語	情　報	合　計
大学入学共通テスト	100	100	(100)	(100)	100	(100)	400
個別学力検査			(100)		(100)		100

（注）1　大学入学共通テストで、地理歴史、公民について２科目を受験した場合は、第１解答科目を採用します。

2　大学入学共通テストで、数学、理科および情報のうち２教科以上を受験した場合は、これらの教科のうち最高得点の教科を採用します。

・理科について２科目を受験した場合は、第１解答科目を採用します。

3　大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に０．７を乗じた値とリスニング試験の得点に０．３を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。

4　大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に０．５を乗じた値を利用します。

5　配点に（　　）の付してある教科は選択教科を表します。

6　個別学力検査の外国語は英語に限ります。

５　第２志望について

経済学部においては、出願の際に、第１志望の学科のほか、他の学科を第２志望の学科とすることができます。この場合には、選抜の結果、第２志望の学科の合格者となることがあります。

経済学部以外の学部においては、第１志望のみとします。

６　そ　の　他

入学手続者が入学定員に満たない場合の欠員補充の方法は、追加合格によります。

Ⅲ　学校推薦型選抜

1　出　願　資　格

出願する学部、学科、学校推薦型選抜の区分（出身学科を指定しない学校推薦型選抜、出身学科を指定する学校推薦型選抜、理数科目を重視する学校推薦型選抜）に従い、該当する項の各号すべてに該当する者

（注１）大学入学共通テストを受ける必要はありません。

（注２）本学の総合型選抜との併願はできません。

（1）共通項目

①　人物、学業成績ともに優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる者

②　合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

（2）経済学部（経済学科、経営学科共通）

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】

①　高等学校を令和８年３月卒業見込みの者

（注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

②　調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が４．０以上の者

【出身学科を指定する学校推薦型選抜】

①　次のいずれかに該当する者

ア　高等学校の職業教育を主とする学科等を令和８年３月卒業見込みの者

イ　高等学校の普通科または総合学科で職業教育に関する教科・科目を２０単位以上修得見込みの者で、令和８年３月卒業見込みのもの

（注）上記アおよびイにおいて、福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

②　調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が４．０以上の者（高等学校において簿記および財務会計Ⅰの両科目を履修した者にあっては、これらの学習成績の状況を数学の学習成績の状況に代えることができます。）

（3）生物資源学部生物資源学科

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】

①　高等学校を令和８年３月卒業見込みの者

（注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

②　調査書の英語、国語、数学および理科の学習成績の状況の平均が４．０以上の者

（注）理科は、高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）の「物理」「化学」「生物」「理数物理」「理数化学」「理数生物」のうち１科目の評定を用いて算出します。

【出身学科を指定する学校推薦型選抜】

①　次のいずれかに該当する者

ア　高等学校の職業教育を主とする学科等（商業科を除きます。）を令和８年３月卒業見込みの者

イ　高等学校の普通科または総合学科で職業教育に関する教科・科目（商業に関する教科・科目を除きます。）を２０単位以上修得見込みの者で、令和８年３月卒業見込みのもの

（注）上記アおよびイにおいて、福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人また

は保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
② 調査書の英語、国語、数学および理科の学習成績の状況の平均が４．０以上の者
（注）理科は、高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）の「物理」「化学」「生物」のうち１科目の評定または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「科学と人間生活」のうち２科目の評定の平均を用いて算出します。
（上記記載の各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。）

（４）生物資源学部創造農学科

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】
① 高等学校を令和８年３月卒業見込みの者
（注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
② 調査書の英語、国語、数学および理科の学習成績の状況の平均が４．０以上の者
（注）理科は、高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）の「物理」「化学」「生物」のうち１科目の評定または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「科学と人間生活」のうち２科目の評定の平均を用いて算出します。
（上記記載の各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。）

【出身学科を指定する学校推薦型選抜】
① 次のいずれかに該当する者
ア 高等学校の職業教育を主とする学科等（商業科を除きます。）を令和８年３月卒業見込みの者
イ 高等学校の普通科または総合学科で職業教育に関する教科・科目（商業に関する教科・科目を除きます。）を２０単位以上修得見込みの者で、令和８年３月卒業見込みのもの
（注）上記アおよびイにおいて、福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
② 調査書の英語、国語、数学および理科の学習成績の状況の平均が４．０以上の者
（注）理科は、高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）の「物理」「化学」「生物」のうち１科目の評定または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「科学と人間生活」のうち２科目の評定の平均を用いて算出します。
（上記記載の各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。）

（５）海洋生物資源学部海洋生物資源学科

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】
① 高等学校を令和８年３月卒業見込みの者
（注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が４．０以上の者
③ 高等学校において、高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）の「物理」「化学」「生物」「地学」「理数物理」「理数化学」「理数生物」「理数地学」のうち１科目以上を履修している者または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち３科目以上を履修している者

【出身学科を指定する学校推薦型選抜】
① 次のいずれかに該当する者
ア 高等学校の職業教育を主とする学科等（商業科を除きます。）を令和８年３月卒業見込みの者
イ 高等学校の普通科または総合学科で職業教育に関する教科・科目（商業に関する教科・科目を除きます。）を２０単位以上修得見込みの者で、令和８年３月卒業見込みのもの

ウ　福井県外の水産系の高等学校または高等学校の水産系の学科等を令和８年３月卒業見込みの者
（注）上記アおよびイにおいて、福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が４．０以上の者

③ 高等学校において、高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）による次のいずれかを履修している者
ア 「物理」「化学」「生物」「地学」のうち１科目以上
イ 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「科学と人間生活」のうち「科学と人間生活」を含む２科目以上
ウ 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち３科目以上
（注）上記ア～ウの各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。

【理数科目を重視する学校推薦型選抜】

① 次のいずれかに該当する者
ア 高等学校の理数科もしくはそれに類する学科を令和８年３月卒業見込みの者
イ ＳＳＨ（スーパーサイエンスハイスクール）指定校を令和８年３月卒業見込みの者で、ＳＳＨに関する学校設定科目を履修しているもの
ウ 自然科学に強い関心を持ち、都道府県レベル以上で開催される学術大会等において入賞や予選を合格した者で、高等学校を令和８年３月卒業見込みのもの

② 調査書の学習成績の状況について、数学の評定の平均または理科の１科目の評定が４．０以上の者
（注）理科は、高等学校学習指導要領（平成30年文部科学省告示第68号）の「物理」「化学」「生物」「地学」「理数物理」「理数化学」「理数生物」「理数地学」のうち１科目の評定を用いて算出します。
（上記記載の各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。）

（６）海洋生物資源学部先端増養殖科学科

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】

① 高等学校を令和８年３月卒業見込みの者
（注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が４．０以上の者

③ 高等学校において、高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）の「物理」「化学」「生物」「地学」「理数物理」「理数化学」「理数生物」「理数地学」のうち１科目以上を履修している者または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち３科目以上を履修している者

【出身学科を指定する学校推薦型選抜】

① 次のいずれかに該当する者
ア 高等学校の職業教育を主とする学科等（商業科を除きます。）を令和８年３月卒業見込みの者
イ 高等学校の普通科または総合学科で職業教育に関する教科・科目（商業に関する教科・科目を除きます。）を２０単位以上修得見込みの者で、令和８年３月卒業見込みのもの
ウ 福井県外の水産系の高等学校または高等学校の水産系の学科等を令和８年３月卒業見込みの者
（注）上記アおよびイにおいて、福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が４．０以上の者

③ 高等学校において、高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）による次のいずれかを履修している者
ア 「物理」「化学」「生物」「地学」のうち１科目以上
イ 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「科学と人間生活」のうち「科学と人間生活」

を含む２科目以上
ウ 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち３科目以上
（注）上記ア～ウの各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。

（７）看護福祉学部看護学科

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】
① 高等学校を令和８年３月卒業見込みの者
（注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
② 調査書の英語、国語、数学および理科の学習成績の状況の平均が４．０以上の者
（注）理科は、高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）の「物理」「化学」「生物」「理数物理」「理数化学」「理数生物」のうち１科目の評定または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「科学と人間生活」のうち２科目の評定の平均を用いて算出します。
（上記記載の各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。）

【出身学科を指定する学校推薦型選抜】
① 高等学校の衛生看護科を令和８年３月卒業見込みの者
（注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
② 調査書の英語、国語、数学および理科の学習成績の状況の平均が４．０以上の者
（注）理科は、高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「科学と人間生活」のうち２科目の評定の平均を用いて算出します。
（上記記載の各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。）

（８）看護福祉学部社会福祉学科

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】
① 高等学校を令和８年３月卒業見込みの者
（注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が４．０以上の者

【出身学科を指定する学校推薦型選抜】
① 次のいずれかに該当する者
ア 高等学校の職業教育を主とする学科等を令和８年３月卒業見込みの者
イ 高等学校の普通科または総合学科で職業教育に関する教科・科目を２０単位以上修得見込みの者で、令和８年３月卒業見込みのもの
（注）上記アおよびイにおいて、福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が４．０以上の者
③ 高等学校において、福祉に関する科目（高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）の教科「福祉」の科目（「福祉情報」を除く。）および本学が福祉に関する科目と認める科目）を８単位以上修得見込みの者
（注）本学が福祉に関する科目と認める科目は、高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）の教科「家庭」のうち、「生活と福祉」です。

（9）恐竜学部恐竜・地質学科

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】
① 高等学校を令和８年３月卒業見込みの者
（注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
② 調査書の英語、数学、理科および情報の学習成績の状況の平均が４．０以上の者
（注）理科は、高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）の「物理」「化学」「生物」「地学」「理数物理」「理数化学」「理数生物」「理数地学」のうち１科目の評定または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「科学と人間生活」のうち２科目の評定の平均を用いて算出します。
（上記記載の各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。）

（10）地域政策学部地域イノベーション学科

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】
① 高等学校を令和８年３月卒業見込みの者
（注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が４．０以上の者

【出身学科を指定する学校推薦型選抜】
① 次のいずれかに該当する者
ア 高等学校の職業教育を主とする学科等を令和８年３月卒業見込みの者
イ 高等学校の普通科または総合学科で職業教育に関する教科・科目を２０単位以上修得見込みの者で、令和８年３月卒業見込みのもの
（注）上記アおよびイにおいて、福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が４．０以上の者

２　推　薦　人　数

各高等学校から推薦できる人数は、次の表に掲げる推薦人数の範囲内とします。

◇【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】【出身学科を指定する学校推薦型選抜】

<table>
<tr><th rowspan="2">高等学校の区分</th><th rowspan="2">学　　部</th><th rowspan="2">学　　科</th><th colspan="2">推薦人数</th></tr>
<tr><th>出身学科を指定しない学校推薦型選抜</th><th>出身学科を指定する学校推薦型選抜</th></tr>
<tr><td rowspan="12">①福井県内の高等学校</td><td rowspan="2">経済学部</td><td>経済学科</td><td>入学定員（注１）が、
・２００名未満の場合
２名
・２００名以上の場合
３名</td><td rowspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>経営学科</td><td>入学定員（注１）が、
・２００名未満の場合
２名
・２００名以上の場合
３名</td></tr>
<tr><td>生物資源学部</td><td>生物資源学科</td><td>２名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">海洋生物資源学部</td><td>創造農学科</td><td>１名</td><td>１名</td></tr>
<tr><td>海洋生物資源学科</td><td>２名</td><td rowspan="4">制限なし</td></tr>
<tr><td>先端増養殖科学科</td><td>２名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">看護福祉学部</td><td>看護学科</td><td>２名</td></tr>
<tr><td>社会福祉学科</td><td>２名</td></tr>
<tr><td>恐竜学部（注2）</td><td>恐竜・地質学科</td><td>２名</td><td></td></tr>
<tr><td>地域政策学部</td><td>地域イノベーション学科</td><td>入学定員（注１）が、
・２００名未満の場合
２名
・２００名以上の場合
３名</td><td>制限なし</td></tr>
<tr><td rowspan="10">②福井県外の高等学校
（注３）</td><td rowspan="2">経済学部</td><td>経済学科</td><td rowspan="10">１名</td><td rowspan="8">１名</td></tr>
<tr><td>経営学科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">生物資源学部</td><td>生物資源学科</td></tr>
<tr><td>創造農学科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">海洋生物資源学部</td><td>海洋生物資源学科</td></tr>
<tr><td>先端増養殖科学科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">看護福祉学部</td><td>看護学科</td></tr>
<tr><td>社会福祉学科</td></tr>
<tr><td>恐竜学部（注2）</td><td>恐竜・地質学科</td><td></td></tr>
<tr><td>地域政策学部</td><td>地域イノベーション学科</td><td>１名</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③福井県外の水産系の高等学校または水産系の学科を置く高等学校</td><td rowspan="2">海洋生物資源学部</td><td>海洋生物資源学科</td><td rowspan="2"></td><td>１名（注４）</td></tr>
<tr><td>先端増養殖科学科</td><td>１名（注４）</td></tr>
</table>

◇【理数科目を重視する学校推薦型選抜】

高等学校の区分	学　　部	学　　科	推　薦　人　数（注５）
福井県内の高等学校	海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	制限なし
福井県外の高等学校			１名

（注１）各高等学校の令和５年度の入学定員（職業教育を主とする学科等および総合学科を除く。）
（注２）恐竜学部恐竜・地質学科では【出身学科を指定する学校推薦型選抜】は実施しません。
（注３）福井県外の高等学校から推薦できる者は、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。推薦できる人数は、【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】は学校で１名、【出身学科を指定する学校推薦型選抜】についても学校で１名です。
（注４）③の１名は、②の福井県外の高等学校が【出身学科を指定する学校推薦型選抜】に推薦できる人数とは別に、推薦することができます。
（注５）全学部・全学科の【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】【出身学科を指定する学校推薦型選抜】に推薦できる人数とは別に、推薦することができます。

３　選　抜　方　法

入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。

（注）１　小論文は、８００字程度（９０分）
　　２　面接では、各学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。

４　出願期間、選抜期日および合格発表日

出 願 期 間	令和７年１１月　４日（火）～１１月１１日（火）
選 抜 期 日	令和７年１１月２２日（土）
合格発表日	令和７年１２月　１日（月）

５　調査書の記入について

本学ならびに学部・学科の入学者受入方針に照らし、高等学校長は、特に推薦できる生徒については、その旨を調査書の「備考」欄に記入してください。

６　自己推薦書について

「自己推薦書」には、出願者本人が、自己推薦文、校内・校外等での活動、取得資格を記入してください。

７　第２志望について

出願においては、第１志望のみとします。第２志望は認められません。

Ⅳ　総合型選抜

１　出　願　資　格

合格した場合には必ず入学することを確約できる者であり、かつ、出願する学科の項の要件に該当するもの

（注１）大学入学共通テストを受ける必要はありません。

（注２）本学の学校推薦型選抜との併願はできません。

（１）経済学部経済学科・経済学部経営学科※

次に掲げる①および②のすべてに該当する者

① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者（ただし出願時において卒業後１年以内の者に限る）または令和８年３月卒業見込みの者で、経済経営をはじめとする社会科学に強い関心を持つ者

② 学術・文化・芸術活動や地域・社会活動、スポーツなどの分野で積極的な活動を行い、社会的に高い評価を得ており、その評価を証明する資料が提出できる者

※経済学部経済学科、経済学部経営学科に地域枠を設定します。

地域枠とは、地域経済の活性化に貢献しようとする意欲を持つ学生の確保を目的として、総合型選抜において福井県内の志願者を合格させる人数枠です。経済学部経済学科・経済学部経営学科の地域枠に出願できるのは、福井県内の者です。地域枠への出願者については、一般枠（地域枠以外をいう）を併願したものとして取り扱います。

（注）福井県内の者とは、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者をいいます。

（２）生物資源学部生物資源学科※

次に掲げる①および②のいずれにも該当する者

① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または令和８年３月卒業見込みの者

② 分子から生物、さらに生態系にまで及ぶ広範な対象を取り扱う科学分野の勉学に強い意欲を持ち、生物資源にかかわる知識と技術をもとに、地域社会、日本、世界の人々の幸せのために将来働く意欲と希望を持つ者

※生物資源学部生物資源学科に地域枠を設定します。

地域枠とは、生物資源に関わる課題に強い関心があり、本学科で生物学・化学を学ぼうという強い意欲を持つ学生の確保を目的として、総合型選抜において福井県内の志願者を合格させる人数枠です。生物資源学部生物資源学科の地域枠に出願できるのは、福井県内の者です。地域枠への出願者については、一般枠（地域枠以外をいう）を併願したものとして取り扱います。

（注）福井県内の者とは、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者をいいます。

（３）生物資源学部創造農学科

次に掲げる①または②のいずれかに該当する者

① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または令和８年３月卒業見込みの者で、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等の次世代の「農」に携わる者として活躍する強い意欲を持つもの

② 学校教育法施行規則第１５０条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または令和８年３月３１日までにこれに該当する見込みの者で、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等の次世代の「農」に携わる者として活躍する強い意欲を持つもの

（注）学校教育法施行規則第１５０条第７号の規定により「個別の入学資格審査」を受けて出願する者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、入学試験本部（入試企画室）までお問い合わせください。

（４）海洋生物資源学部海洋生物資源学科

次に掲げる①および②のいずれにも該当する者

① 海洋を中心とした水圏の生物および環境とその利用に関連する学問領域において強い関心を持ち、科学と技術を通じて海洋生物資源に関わる様々な問題の解決や、食品加工や素材開発等の応用に貢献する意欲を持つ者

② 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または令和８年３月卒業見込みの者で、高等学校もしくは中等教育学校において、高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうちから合計３科目以上履修したものもしくは履修しているものまたは「理数物理」「理数化学」「理数生物」「理数地学」のうち１科目以上を履修したものもしくは履修しているもの

（５）海洋生物資源学部先端増養殖科学科※

次に掲げる①または②のいずれかに該当する者

① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または令和８年３月卒業見込みの者で、養殖生産、ICT を活用したスマート養殖技術の開発、商品開発、流通･販売などの水産ビジネス分野、生命科学や情報科学等の試験研究分野、国内のみならず国際的な農林水産行政分野で「水産増養殖」に携わるものとして活躍したいという強い意欲を持つもの

② 学校教育法施行規則第１５０条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または令和８年３月３１日までにこれに該当する見込みの者で、養殖生産、ICT を活用したスマート養殖技術の開発、商品開発、流通・販売などの水産ビジネス分野、生命科学や情報科学等の試験研究分野、国内のみならず国際的な農林水産行政分野で「水産増養殖」に携わるものとして活躍したいという強い意欲を持つもの

（注）学校教育法施行規則第１５０条第７号の規定により「個別の入学資格審査」を受けて出願する者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、入学試験本部（入試企画室）までお問い合わせください。

※ 海洋生物資源学部先端増養殖科学科に地域枠を設定します。

地域枠とは、水圏生物の増養殖の課題に強い関心があり、福井県内での増養殖関係の就業や起業、地域経済の活性化に貢献しようとする意欲を持つ学生の確保を目的として、総合型選抜において福井県内の志願者を合格させる人数枠です。海洋生物資源学部先端増養殖科学科の地域枠に出願できるのは、福井県内の者です。地域枠への出願者については、一般枠（地域枠以外をいう）を併願したものとして取り扱います。

（注）福井県内の者とは、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者をいいます。

（6）恐竜学部恐竜・地質学科※

次に掲げる①および②のいずれにも該当する者

① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または令和８年３月卒業見込みの者

② 地層から古生物、さらに古環境にまで及ぶ広範な対象を取り扱う科学分野の勉学に強い意欲を持ち、地球科学にかかわる知識と技術をもとに、地域社会、日本の人々のために将来働く意欲と希望を持つ者

※ 恐竜学部恐竜・地質学科に地域枠を設定します。

地域枠とは、恐竜を含む古生物学や地質学などの 自然科学に強い関心があり、福井県内での就業や起業、地域経済の活性化に貢献しようとする意欲を持つ学生の確保を目的として、総合型選抜において福井県内の志願者を合格させる人数枠です。

恐竜学部恐竜・地質学科の地域枠に出願できるのは、福井県内の者です。地域枠への出願者については、一般枠（地域枠以外をいう。）を併願したものとして取り扱います。

（注）福井県内の者とは、本人または保護者が令和７年４月１日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

（7）地域政策学部地域イノベーション学科

次に掲げる①および②のいずれにも該当する者

① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または令和８年３月卒業見込みの者で、社会科学分野の課題研究や探究活動（※）または自由研究を行った者

② 福井県内あるいはその他の地域での就業や起業、地域経済の活性化に貢献しようとする意欲を持つ者

※ 課題研究や探究活動とは、「総合的な探究の時間」等の授業によるものに限らず、生徒会活動や部活動などの学内の活動、または NPO や高校生起業家などの学外活動も含みます。

2 選 抜 方 法

（1）共通項目

2段階選抜の実施

志願者数が募集人員に対して、各学科の定めた倍率を超えた場合に、第1段階選抜を実施することがあります。

（2）経済学部経済学科・経済学部経営学科

① 第1段階選抜

経済学部経済学科・経済学部経営学科は、志願者数が募集人員の2倍を超えた場合に、以下の出願書類により、第1段階選抜を実施することがあります。

・自己推薦書（本学様式）
学術・文化・芸術活動や地域・社会活動、スポーツなどの分野で社会的に高い評価を得たことを証明する資料と関連付けて校内・校外等での活動、取得資格等を記入してください。

・調査書（学習成績の状況等により本学科への適性を判断するため使用）

・学術・文化・芸術活動や地域・社会活動、スポーツなどの分野で社会的に高い評価を得たことを証明する資料

② 第2段階選抜

出願書類（自己推薦書および調査書を含む）、小論文、プレゼンテーションおよび面接の内容を総合して評価します。

（3）生物資源学部生物資源学科

① 第1段階選抜

生物資源学科は、志願者数が募集人員の3倍を超えた場合に、以下の出願書類により熱意と適性を評価し、第1段階選抜を実施することがあります。

・自己推薦書（本学様式、500字程度）
高等学校在籍時の探究もしくは課外の研究活動（部活動や自主研究等）に対する思いと大学入学以降の研究に対する熱意について作文してください。

・調査書（学習成績の状況等により本学科への適正を判断するために使用）

・研究成果概要（本学様式、A4 2ページ）
高等学校等において、その在籍期間中に自ら、又はグループで行った理科、情報などの科学分野に関連した探究または研究活動（※）について、動機や成果を示す書類を作成してください。研究の動機・目的、材料と方法、結果、考察、参考文献の項目に分けてわかりやすく作成してください。必要に応じて図表を用いてもよいです。

※理科、情報などの科学分野に関連した探究または研究活動には、例えば以下のようなものを含みます。
・実験や観察によりデータを収集・整理し、その結果をもとに考察を重ねて新たな知見を見出そうとした活動
・動植物の飼育や栽培を行って観察し、それらの特性を調査した活動
・アンケート調査などによりデータを収集し、その結果を整理・解析して考察を重ね、課題解決を試みた活動
・プログラミングや工作などをとおしてアプリや教材の作成を試みた活動

② 第2段階選抜

出願書類（調査書を含む）、プレゼンテーションおよび面接の内容を総合して評価します。

（4）生物資源学部創造農学科

① 第１段階選抜

創造農学科は、志願者数が募集人員の４倍を超えた場合に、以下の出願書類により熱意と適性を評価し、第１段階選抜を実施することがあります。

・自己推薦書（本学様式）

・調　査　書（学習成績の状況等により本学科への適性を判断するため使用）

② 第２段階選抜

プレゼンテーションおよび面接の成績ならびに自己推薦書および調査書の内容を総合して行います。

（5）海洋生物資源学部海洋生物資源学科

① 第１段階選抜

海洋生物資源学科は、志願者数が募集人員の３倍を超えた場合に、以下の出願書類により熱意と適性を評価し、第１段階選抜をすることがあります。

・自己推薦書（本学様式）

・調　査　書（学習成績の状況等により本学科への適性を判断するため使用）

② 第２段階選抜

プレゼンテーションおよび面接の成績ならびに自己推薦書および調査書の内容を総合して行います。

（6）海洋生物資源学部先端増養殖科学科

① 第１段階選抜

先端増養殖科学科は、志願者数が募集人員の３倍を超えた場合に、以下の出願書類により熱意と適性を評価し、第１段階選抜を実施することがあります。

・自己推薦書（本学様式）

・調　査　書（学習成績の状況等により本学科への適性を判断するため使用）

② 第２段階選抜

プレゼンテーションおよび面接の成績ならびに自己推薦書および調査書の内容を総合して行います。

（7）恐竜学部恐竜・地質学科

① 第１段階選抜

恐竜・地質学科は、志願者数が募集人員の５倍を超えた場合に、以下の出願書類により熱意と適性を評価し、第１段階選抜を実施することがあります。

・自己推薦書（本学様式）

・調査書（学習成績の状況等により本学科への適性を判断するため使用）

② 第２段階選抜

プレゼンテーションおよび面接の成績ならびに自己推薦書および調査書の内容を総合して行います。

（8）地域政策学部地域イノベーション学科

① 第1段階選抜

地域イノベーション学科は、志願者数が募集人員の２倍を超えた場合に、以下の出願書類により熱意と適性を評価し、第1段階選抜を実施することがあります。

・自己推薦書（本学様式）
・調査書（学習成績の状況等により本学科への適性を判断するため使用）
・研究成果概要（本学様式）

② 第2段階選抜

出願書類（調査書を含む）、プレゼンテーション、小論文および面接の内容を総合して評価します。

３　出願期間、選抜期日および合格発表日

出　願　期　間		令和７年１０月　１日（水）～１０月　８日（水）
第１段階選抜	選抜期日	書類選考
	合格発表日	令和７年１１月　４日（火）
第２段階選抜	選抜期日	令和７年１１月２３日（日・祝）
	合格発表日	令和７年１２月　１日（月）

４　自己推薦書について

「自己推薦書」には、出願者本人が、自己アピール、志望動機、校内・校外等での活動、取得資格等を記入してください。

※詳細は学生募集要項に記載します。

５　第２志望について

出願においては、第１志望のみとします。第２志望は認められません。

Ⅴ　帰国生徒特別選抜

1　出　願　資　格

日本国籍を有する者、日本国の永住許可を得ている者、その他これらに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けているもののうち、次の（1）および（2）のいずれにも該当するもの

（1）以下の各号のいずれかに該当する者

① 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め２学年以上継続して学校教育を受け、１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を令和６年４月１日から令和８年３月３１日までに卒業（修了）した者または卒業（修了）見込みの者

② 外国の教育制度に基づく教育機関において、２年以上継続して学校教育を受け、１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第３学年もしくは中等教育学校の第６学年に編入学を認められた者で、令和８年３月卒業見込みのもの

③ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を令和６年または令和７年に授与された者

④ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和６年または令和７年に授与された者

⑤ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和６年または令和７年に授与された者

（注）１　①および②において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

２　大学入学共通テストを受ける必要はありません。

（2）下表に定める英語の資格・検定試験のいずれかを令和５年１２月以降に受験し、公式な成績証明書を提出できる者

学　部	学　科	受験を出願資格とする英語の資格・検定試験
経　済　学　部	経　済　学　科	なし ※　TOEIC のスコアの提出があった場合、選抜の際の参考とします。詳しくは「Ⅸ　経済学部の特別選抜におけるTOEICの利用について（５２ページ）」で確認してください。
	経　営　学　科	
生　物　資　源　学　部	生物資源学科	・TOEFL（PBT、iBT） ・TOEIC（Listening&Reading Test） ・IELTS（アカデミック・モジュール） ・英検 ※　TOEFL　ITP（団体受験）テスト、TOEIC　IP（団体受験）テスト、TOEIC　SW テスト、TOEIC　Speaking テスト、TOEIC　Bridge テスト、IELTS（団体受験）、IELTS（ジェネラル・トレーニング・モジュール）、英検 Jr、英検 IBA のスコアは認められません。
	創　造　農　学　科	
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	
	先端増養殖科学科	
看　護　福　祉　学　部	看　護　学　科	
	社会福祉学科	
恐　竜　学　部	恐竜・地質学科	
地　域　政　策　学　部	地域イノベーション学科	

（注）上記（2）は学部・学科により異なりますので、ご注意ください。

２　選　抜　方　法

<table>
<tr><th>学　　部</th><th>学　　科</th><th>選抜方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">経　済　学　部</td><td>経　済　学　科</td><td rowspan="2">入学者の選抜は、小論文、学力検査および面接の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。
(注)
１　小論文は、８００字程度（９０分）
２　学力検査は、英語の基礎学力を測るもの（６０分）
３　面接では、経済学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。</td></tr>
<tr><td>経　営　学　科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">生物資源学部</td><td>生物資源学科</td><td rowspan="7">入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。
(注)
１　小論文は、８００字程度（９０分）
２　面接では、各学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。
３　英語の資格・検定試験の内容は、生物資源学部、海洋生物資源学部、恐竜学部および地域政策学部にあっては出願書類の評価に、また、看護福祉学部にあっては面接および出願書類の評価に含めます。</td></tr>
<tr><td>創造農学科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">海洋生物資源学部</td><td>海洋生物資源学科</td></tr>
<tr><td>先端増養殖科学科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">看護福祉学部</td><td>看　護　学　科</td></tr>
<tr><td>社会福祉学科</td></tr>
<tr><td>恐　竜　学　部</td><td>恐竜・地質学科</td></tr>
<tr><td>地域政策学部</td><td>地域イノベーション学科</td></tr>
</table>

３　出願期間、選抜期日および合格発表日

出願期間	令和７年１１月　４日（火）～１１月１１日（火）
選抜期日	令和７年１１月２２日（土）
合格発表日	令和７年１２月　１日（月）

４　第２志望について

経済学部においては、出願の際に、第１志望の学科のほか、他の学科を第２志望の学科とすることができます。この場合には、選抜の結果、第２志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮の上、志望する学科を決めてください。

経済学部以外の学部においては、第１志望のみとします。

Ⅵ　社会人特別選抜

1　出　願　資　格

次の（1）および（2）のいずれにも該当する者

（1）令和８年４月１日現在において満２３歳に達しており、社会人の経歴を３年以上有する者で、以下の各号のいずれかに該当するもの。この場合、定時制、夜間、通信制以外の学校の在学期間は社会人の経歴の期間に含めません。

① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
② 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者
③ 学校教育法施行規則第１５０条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

（注）１　大学入学共通テストを受ける必要はありません。
２　③において、学校教育法施行規則第１５０条第７号の規定により「個別の入学資格審査」を受けて出願する者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、入学試験本部（入試企画室）までお問い合わせください。

（2）下表に定める英語の資格・検定試験のいずれかを令和５年１２月以降に受験し、公式な成績証明書を提出できる者

<table>
<tr><th>学　部</th><th>学　科</th><th>受験を出願資格とする英語の資格・検定試験</th></tr>
<tr><td rowspan="2">経　済　学　部</td><td>経　済　学　科</td><td rowspan="2">なし
※　TOEIC のスコアの提出があった場合、選抜の際の参考とします。詳しくは「Ⅸ　経済学部の特別選抜における TOEIC の利用について（５２ページ）」で確認してください。</td></tr>
<tr><td>経　営　学　科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">生物資源学部</td><td>生物資源学科</td><td rowspan="7">・TOEFL（PBT、iBT）
・TOEIC（Listening&Reading Test）
・IELTS（アカデミック・モジュール）
・英検
※　TOEFL　ITP（団体受験）テスト、TOEIC　IP（団体受験）テスト、TOEIC　SW テスト、TOEIC Speaking テスト、TOEIC　Bridge テスト、IELTS（団体受験）、IELTS（ジェネラル･トレーニング･モジュール）、英検 Jr、英検 IBA のスコアは認められません。</td></tr>
<tr><td>創造農学科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">海洋生物資源学部</td><td>海洋生物資源学科</td></tr>
<tr><td>先端増養殖科学科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">看護福祉学部</td><td>看　護　学　科</td></tr>
<tr><td>社会福祉学科</td></tr>
<tr><td>恐　竜　学　部</td><td>恐竜・地質学科</td></tr>
<tr><td>地域政策学部</td><td>地域イノベーション学科</td></tr>
</table>

（注）　上記（2）は学部・学科により異なりますので、ご注意ください。

２　選　抜　方　法

<table>
<tr><th>学　　部</th><th>学　　科</th><th>選抜方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">経　済　学　部</td><td>経　済　学　科</td><td rowspan="2">入学者の選抜は、小論文、学力検査および面接の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。
(注)
１　小論文は、８００字程度（９０分）
２　学力検査は、英語の基礎学力を測るもの（６０分）
３　面接では、経済学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。</td></tr>
<tr><td>経　営　学　科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">生物資源学部</td><td>生物資源学科</td><td rowspan="7">入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。
(注)
１　小論文は、８００字程度（９０分）
２　面接では、各学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。
３　英語の資格・検定試験の内容は、生物資源学部、海洋生物資源学部、恐竜学部および地域政策学部にあっては出願書類の評価に、また、看護福祉学部にあっては面接および出願書類の評価に含めます。</td></tr>
<tr><td>創造農学科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">海洋生物資源学部</td><td>海洋生物資源学科</td></tr>
<tr><td>先端増養殖科学科</td></tr>
<tr><td rowspan="2">看護福祉学部</td><td>看　護　学　科</td></tr>
<tr><td>社会福祉学科</td></tr>
<tr><td>恐　竜　学　部</td><td>恐竜・地質学科</td></tr>
<tr><td>地域政策学部</td><td>地域イノベーション学科</td></tr>
</table>

３　出願期間、選抜期日および合格発表日

出願期間	令和７年１１月　４日（火）～１１月１１日（火）
選抜期日	令和７年１１月２２日（土）
合格発表日	令和７年１２月　１日（月）

４　第２志望について

経済学部においては、出願の際に、第１志望の学科のほか、他の学科を第２志望の学科とすることができます。この場合には、選抜の結果、第２志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮の上、志望する学科を決めてください。

経済学部以外の学部においては、第１志望のみとします。

Ⅶ　私費外国人留学生特別選抜

1　出　願　資　格

外国の国籍を有し、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「２０２４年度日本留学試験（第２回）」または「２０２５年度日本留学試験（第１回）」を受験した者または「２０２５年度日本留学試験（第２回）」に出願して受理された者（２０２４年度　第２回、２０２５年度　第１回・第２回のいずれの試験も出題言語は日本語に限る。）で、次の（１）および（２）のいずれにも該当するもの

なお、本学が日本留学試験の成績を利用する科目は、下表のとおりです。（○は必須、△は選択を表します。）

学部名	学科名	日本語	総合科目	数　学	理　科	備　　考
経　済　学　部	経　済　学　科 経　営　学　科	○	△	○（※1）	△（※2）	「日本語、総合科目、数学」または 「日本語、数学、理科」のいずれでも可
生物資源学部	生物資源学科 創　造　農　学　科	○	－	○（※1）	○（※2）	
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科 先端増養殖科学科	○	－	○（※1）	○（※2）	
看護福祉学部	看　護　学　科	○	－	○（※1）	○（※2）	
	社会福祉学科		○		－	
恐　竜　学　部	恐竜・地質学科	○	－	○（※1）	○（※2）	
地域政策学部	地域イノベーション学科	○	○	○（※1）	－	

※１　数学……「コース１」、「コース２」のいずれでも可
※２　理科……３科目（「物理」、「化学」、「生物」）から２科目自由選択

（１）以下の各号のいずれかに該当する者
① 外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者もしくは令和８年３月修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
② 外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験と認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含みます。）に合格した者で、令和８年４月１日現在において満１８歳に達している者
③ 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験と認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含みます。）に合格した者を含みます。）で、文部科学大臣が指定する教育施設等における準備教育課程を修了した者
④ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
⑤ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
⑥ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
⑦ ①～⑥の者と同等の出願資格があると本学において認めた者

（注）大学入学共通テストを受ける必要はありません。

（2）下表に定める英語の資格・検定試験のいずれかを令和５年１２月以降に受験し、公式な成績証明書を提出できる者

学　部	学　科	受験を出願資格とする英語の資格・検定試験
経済学部	経済学科	なし ※　TOEICのスコアの提出があった場合、選抜の際の参考とします。詳しくは「Ⅸ　経済学部の特別選抜におけるTOEICの利用について（５２ページ）」で確認してください。
	経営学科	
生物資源学部	生物資源学科	・TOEFL（PBT、iBT） ・TOEIC（Listening&Reading Test） ・IELTS（アカデミック・モジュール） ・英検 ※　TOEFL　ITP（団体受験）テスト、TOEIC　IP（団体受験）テスト、TOEIC　SWテスト、TOEIC　Speakingテスト、TOEIC　Bridgeテスト、IELTS（団体受験）、IELTS（ジェネラル・トレーニング・モジュール）、英検Jr、英検IBAのスコアは認められません。
	創造農学科	
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	
	先端増養殖科学科	
看護福祉学部	看護学科	
	社会福祉学科	
恐竜学部	恐竜・地質学科	
地域政策学部	地域イノベーション学科	

（注）上記（2）は学部・学科により異なりますので、ご注意ください。

２　選　抜　方　法

学　部	学　科	選抜方法
経済学部	経済学科	入学者の選抜は、面接および日本留学試験の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。 （注） **1　面接はオンラインで行います。※** 2　面接では、経済学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。
	経営学科	
生物資源学部	生物資源学科	入学者の選抜は、面接および日本留学試験の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。 （注） **1　面接はオンラインで行います。※** 2　面接では、各学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。 3　英語の資格・検定試験の内容は、生物資源学部、海洋生物資源学部、恐竜学部および地域政策学部にあっては出願書類の評価に、また、看護福祉学部にあっては面接および出願書類の評価に含めます。
	創造農学科	
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	
	先端増養殖科学科	
看護福祉学部	看護学科	
	社会福祉学科	
恐竜学部	恐竜・地質学科	
地域政策学部	地域イノベーション学科	

※　オンラインでの面接がありますので、インターネット環境を整えてください。自宅でインターネット環境を整備することが難しい場合は、在籍する学校に相談してください。

３　出願期間、選抜期日および合格発表日

出 願 期 間	令和７年１１月　４日（火）～１１月１１日（火）
選 抜 期 日	令和７年１１月２２日（土）～２３日（日・祝）
合格発表日	令和８年　１月　７日（水）

４　第２志望について

経済学部においては、出願の際に、第１志望の学科のほか、他の学科を第２志望の学科とすることができます。この場合には、選抜の結果、第２志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮の上、志望する学科を決めてください。

経済学部以外の学部においては、第１志望のみとします。

Ⅷ　経済学部の特別選抜におけるＴＯＥＩＣの利用について

経済学部における特別選抜（帰国生徒特別選抜、社会人特別選抜、私費外国人留学生特別選抜）では、TOEIC　Listening&Reading Test 公開テストのスコアを有する者からそのスコアの提出があった場合に、以下のとおり取り扱うこととします。

学部名	学科名	TOEIC スコアの取り扱い
経 済 学 部	経　済　学　科	選抜の際の参考とします。
	経　営　学　科	

（注）１　提出できるのは、令和５年１２月以降に受験した TOEIC　Listening&Reading Test 公開テストの公式認定証（コピー不可）のみです。
２　TOEIC　IP（団体受験）テスト、TOEIC　SW テスト、TOEIC　Speaking テスト、TOEIC Bridge テストのスコアは認められません。

TOEIC（Test of English for International Communication）とは、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストで、日本国内においては一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会が実施しています。

Ⅸ　個別の入学資格審査

学校教育法施行規則第１５０条第７号の規定により、本学の入学資格審査を受けようとする者は、所定の申請書に関係書類を添付して、令和７年８月１日（金）から令和７年９月１０日（水）【必着】までに申請してください。

詳細については、入学試験本部（入試企画室）までお問い合わせください。

なお、入学資格審査の内容については、福井県立大学ホームページ（https://www.fpu.ac.jp）で確認してください。

Ⅹ　障害を有する入学志願者等との事前相談

障害を有する等、受験上および入学後に修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願の前にあらかじめ入学試験本部（入試企画室）まで連絡し、相談してください。相談の時期や方法については、後日公表する学生募集要項を参照してください。

相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、十分な配慮による受験ができない場合もありますので、なるべく早く相談してください。

なお、一般選抜により本学への入学を志願する受験者のうち、体幹および両上下肢の機能障害が著しい方で、大学入学共通テストで代筆解答を希望する方は、共通テスト出願以前のできるだけ早い時期に入学試験本部（入試企画室）まで連絡し、事前相談をしてください。

Ⅺ　入試過去問題の利用について

（１）本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、本学のアドミッション・ポリシーを実現するために必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

（２）入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。また、必ず使用するとは限りません。

（３）入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後に受験者に分かる形で使用問題を公表します。

（４）「入試過去問題活用宣言」の詳細および参加大学の一覧については、「https://www.nyushikakomon.jp」にて公表しています。

Ⅻ　大学案内・学生募集要項等の請求方法

１　発表時期

（１）一般選抜学生募集要項……１１月上旬頃

（２）学校推薦型選抜学生募集要項……　９月下旬頃

（３）総合型選抜学生募集要項……　８月下旬頃

（４）特別選抜学生募集要項（帰国生徒、社会人、私費外国人留学生）
……　９月中旬頃

※特別選抜学生募集要項以外は、紙媒体での配布はありません。本学ホームページから閲覧またはダウンロードしてください。

２　学生募集要項の請求方法

インターネット出願の導入により、入学者選抜要項（この資料）、一般選抜学生募集要項、学

校推薦型選抜学生募集要項、総合型選抜学生募集要項について、冊子体での配布は行いません。公表したものから順次、本学ホームページ（https://www.fpu.ac.jp/）「入試情報」内に掲載しますので、各自で閲覧またはダウンロードしてください。

大学案内、特別選抜学生募集要項の請求方法は次によります。

（1）本学へ請求する場合

① 郵送による方法

封筒の表に「大学案内請求」または「特別選抜学生募集要項請求」と朱書し、返信用封筒（角型２号封筒に返送先の住所・氏名を明記し、送料に相当する切手を貼付したもの。）を入学試験本部（入試企画室）まで送付してください。

送料は本学ホームページ（https://www.fpu.ac.jp/）を確認ください。または、入学試験本部（入試企画室）にお問い合わせください。

② ファックスによる方法

「大学案内請求」または「特別選抜学生募集要項請求」と記載し、受取人の郵便番号、電話番号、住所および氏名を明記し、申し込んでください。本学からは、受取人着払いで送付します。

③ 来学による請求

大学案内、特別選抜学生募集要項は直接来学して受領できます。入学試験本部（入試企画室）にお問い合わせください。

（注）（1）の①、②の方法での請求については、到着まで１週間程度の日数を要しますので、余裕を持って請求願います。

（2）大学のホームページから請求する場合【大学案内のみ】

本学のホームページから直接、テレメールまたはモバっちょによる資料請求ができます。

詳しくは、福井県立大学ホームページ（https://www.fpu.ac.jp）トップページの「資料請求」をご覧ください。請求方法や料金等の詳細は、各サイトをご確認ください。

Ⅻ　個人情報の取扱いについて

本学が保有する個人情報については、以下のとおり取扱いますので、予めご了承ください。

1　個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５７号）」および「公立大学法人福井県立大学個人情報保護取扱規程」に基づき、適正に処理します。法令等の規定に基づくときなどの例外を除き、原則として、第三者に提供することはありません。

2　入学資料請求に当たってお知らせいただいた氏名、住所およびその他の個人情報については、資料の送付および統計資料作成等の業務を行うために利用します。

3　出願に当たってお知らせいただく個人情報の取扱いについては、各選抜の学生募集要項に掲載します。

ⅩⅢ　不測の事態が発生した場合の諸連絡について

不測の事態により、試験日程や選抜内容など要項の内容に変更が生じた場合は、本学ホームページ等でお知らせしますので、出願前や受験前は特にご注意ください。

・ホームページアドレスは　https://www.fpu.ac.jp です。

XV　令和９年度入学者選抜の変更について【予告】

本学では、令和９年度福井県立大学入学者選抜を次のとおり変更する予定ですので、あらかじめお知らせします。

なお、内容は現時点のものであり、今後の状況により変更となる場合がありますので、令和８年度に公表する入学者選抜要項および学生募集要項並びに本学ホームページにて確認をしてください。

私費外国人留学生特別選抜における日本留学試験の利用について

本学が成績利用する日本留学試験の受験年度および実施回の時期を下記のとおり変更します。

令和８（２０２６）年度入試	令和９（２０２７）年度入試
２０２４年度１１月（第２回） ２０２５年度　６月（第１回） ２０２５年度１１月（第２回）	２０２６年度　６月（第１回） ２０２６年度１１月（第２回）

【永平寺キャンパス】

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1
TEL：0776-61-6000（代）
FAX：0776-61-6012

〈バス〉　京福バス福井駅西口バスターミナル
大学病院線「県立大学」下車（所要時間約 40 分）
〈乗用車〉福井駅より約 20 分
北陸自動車道 福井北 IC より約 10 分

【福井まちなかキャンパス】

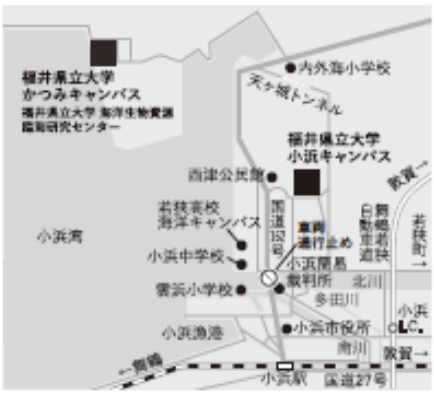
〒910-0858 福井県福井市手寄 1-4-1
AOSSA（アオッサ）内

〈電車〉　福井駅東口より徒歩 1 分
〈乗用車〉北陸自動車道 福井 IC より約 10 分

【あわらキャンパス】

〒910-4103 福井県あわら市二面 88-1
TEL：0776-77-1443（代）
FAX：0776-77-1448

〈乗用車〉芦原温泉駅より約 15 分
北陸自動車道 金津 IC より約 15 分



【小浜キャンパス】

〒917-0003 福井県小浜市学園町 1-1
TEL：0770-52-6300（代）
FAX：0770-52-6003

〈コミュニティバス〉小浜駅よりあいあいバスで約 10 分、
「西津公民館前」下車徒歩 15 分
〈乗用車〉小浜駅より約 10 分
舞鶴若狭自動車道 小浜 IC より約 5 分

【かつみキャンパス】

〒917-0116 福井県小浜市堅海 49-8-2
TEL：0770-52-7305（代）
FAX：0770-52-7306

〈コミュニティバス〉小浜駅よりあいあいバスで約 20 分、「堅海」下車
〈乗用車〉小浜駅より約 20 分
舞鶴若狭自動車道 小浜 IC より約 20 分

【勝山キャンパス】

〒911-0025 福井県勝山市村岡町五本寺 17-15

〈電車・バス〉えちぜん鉄道 勝山駅よりバスで約 15 分
〈乗用車〉福井駅より約 50 分
中部縦貫自動車道 勝山 IC より約 10 分

問い合わせ・事前相談先

福井県立大学　入学試験本部（入試企画室）

〒910-1195
福井県永平寺町松岡兼定島４－１－１
Tel　　０７７６－６８－８２９７
Fax　　０７７６－６１－６０１２
Eメール　nyusi@fpu.ac.jp
電話受付時間：午前９時～午後５時
（土曜・日曜・祝日、年末年始を除く）